

鳥取県老人クラブ連合会

創立 **60** 周年記念 10年小史

2014年～2024年



10年小史 発刊にあたって



公益社団法人
鳥取県老人クラブ連合会

会 長 岡 森 裕



鳥取県老人クラブ連合会は昭和 39 年に設立され、今年 60 周年を迎えることとなりました。
これまで県老連を築き上げられた先輩の方々を始めお力添え頂いた多くの皆様に感謝申し上げます。

本年は、第 36 回全国健康福祉祭とっとり大会が開催され、地域文化伝承館の事業を老人クラブの総力を挙げて取り組んだ年でもありました。

そしてまた、県民総合福祉大会は「鳥取県老人クラブ連合会 60 周年記念」として、市町村老連等に優良事例の活動発表をしていただきました。

県老連にとってのこの 10 年は、新型コロナウイルスの蔓延等も相まって会員数が激減してしまい大変厳しい年代でもありました。単位クラブの会長が高齢で辞められると、後継者が無く一度に多くの会員が退会したり、コロナ禍で活動を休止し、そのままクラブが消滅する等しました。さらには、定年の延長などから働き続ける人も多く、新たにリーダーとなる人がおらず、高齢者は増加しているにもかかわらず新規加入者は少ない状況が続いております。

そのような状況下でも、老人クラブの活動は新たにウォーキングやニュースポーツを取り入れたり、ICT の活用やフレイル予防・認知症予防対策など各種の事業を積極的に推進して来ました。その成果は、時代に合った前向きな取り組みであったと考えております。

高齢化が進む中、地域で支え合う地域共生社会の実現に老人クラブの活動はますます重要になっております。老人クラブが掲げる「健康、友愛、奉仕」の三大運動と「伸ばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のスローガンを念頭に今後も活動の充実と発展を図ってまいります。

終わりに、老人クラブは、今後とも地域の重要な担い手として、発展していかなければなりません。そのためには、高齢者皆様のご理解はもとより、関係する機関、団体のより一層のご支援とご協力を切にお願い申し上げます。



鳥取県知事 平井 伸治

鳥取県老人クラブ連合会 60 周年を迎えられ「創立 60 周年記念 10 年小史」が発刊されますことに対し、心よりお祝い申し上げます。

鳥取県老人クラブ連合会は、昭和 39 年に「健康」「友愛」「奉仕」という理念の下で設立されて以来、会員の皆様の熱意と努力により、高齢者の健康や生きがいづくりとともに、地域社会を豊かにする素晴らしい成果を挙げてこられました。岡森裕会長はじめ歴代の役員、各老人クラブ会員の皆様に心から感謝申し上げます。

令和 6 年 10 月には「第 36 回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取 2024）」を皆様にご協力いただき盛況のうちに開催することが叶いました。特に皆様が「地域文化伝承館」などの文化イベントを運営され、全国各地からお迎えした皆様とともに、伝統的な芸能文化による地域の交流の花が咲き大成功を果たされましたのは、シニア世代の本領を発揮され、老人クラブ連合会の絆と情熱が実を結んだものであり、厚く御礼申し上げます。

我が国は世界一の長寿国となり、本県も 3 人に 1 人が高齢者という長寿社会を迎えました。老人クラブ連合会とともに、鳥取県としても、令和 6 年に「鳥取県高齢者の元気福祉プラン」を策定し、シニア世代が心身ともに健康を楽しみ、経験や技術を生かし地域社会の担い手として生き生き活躍する社会を目指し、介護予防・フレイル予防対策や様々な活動支援等の施策を積極的に展開してまいります。

老人クラブ連合会におかれましては、コロナ禍においてもスマホ教室やフレイル対策を進めるなど、精力的な事業推進を図ってこられました。今後とも、高齢者の健康や生きがいづくりをリードしていただきますよう、更なる御発展をお祈り申し上げます。

結びに当たり、60 周年という節目を契機に、連合会・各老人クラブが今後ますます地域の要として活躍されますようお祈り申し上げますとともに、皆様の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



鳥取県社会福祉協議会

会 長 藤 井 喜 臣

私が老人クラブ活動に携わった最初のきっかけは、昭和 61（1986）年 4 月に、鳥取県庁に高齢者対策課（今の名は長寿社会課）が新設された時でした。設置の経緯は、「今後、鳥取県では全国に先駆けて 65 歳以上の人口が増加していく。人生 80 年時代を目指して、福祉医療の充実とともに、元気な高齢者のための「生きがいづくり」が大切だ・・・」といった趣旨で、私自身は高齢者対策課の企画調整係長として、在宅福祉の充実と高齢者の生きがいづくりが役割でした。

当時の鳥取県内の 65 歳以上の人口割合は、おおむね 14% でありました。また、そのころは老人クラブへの加入率も高く、郡部では、対象者のほぼ全員加入の地域もありました。きっと、60 歳になると仕事もひとくぎりという意識があり、地域のつながりも強かったのでしょう。今、65 歳以上の人口は 30% を超え、町村によっては 50% を超えるまでもなりましたが、まだ現役の方々も多く、それに加え、スポーツジムなど、当時はなかった高齢者の楽しみの場が存在しており、老人クラブの相対的な意義は薄れているとは思いますが。

しかしながら、今は人生 100 年時代になりました。私自身が地域の老人クラブの会員となり、今、理事もしていますが、70 歳代の私達よりも、80 歳、90 歳代の会員の皆さんの方がお元気で、公民館活動（例えば納涼祭や文化祭での役割）、学校行事との関わり、会員の春と秋の研修旅行、子どもたちの登下校の見守り活動や募金活動などに携わっておられ、老人クラブ会員であることによる地域貢献が、健康増進につながっていると思ったりしています。

県老人クラブ連合会では、近年、フレイル予防やスマホ教室など、新たな活動も進めておられます。また、2024 年 10 月 19 日～22 日には、全国健康福祉祭（ねんりんピック）とっとり大会が開催されました。県老人クラブ連合会では、「地域文化伝承館」を主催され、県内の地域文化の伝承活動の実演、展示、体験、交流、発表を披露され、県民はもとより、全国の皆さんに楽しんでいただけたようです。この大会を通じて、老人クラブ活動への理解が高まっていった欲しいものです。

最近、孤独・孤立、地域のつながりの希薄などいろいろとされています。私見ではありますが、皆さん地域のつながりを待っておられると「遠慮せず？勝手に？思い込んではいかがでしょうか！」、私自身、60 歳を超えた近所の知り合いを勧誘して、やや強引に「新入会員を獲得」しております。自画自賛ですが、そのことが地域共生社会に貢献していると思っております。鳥取県社会福祉協議会では鳥取県老人クラブの事務局を受け持っております。担当する職員も「優しく、笑顔で、パワフル」なみんなです。60 周年を契機として、この活動をさらに大切にしていきたいと思っております。

鳥取県老人クラブ連合会 60 周年記念大会	1
--------------------------	---

鳥取県老人クラブ連合会 10 年の歩み	5
------------------------	---

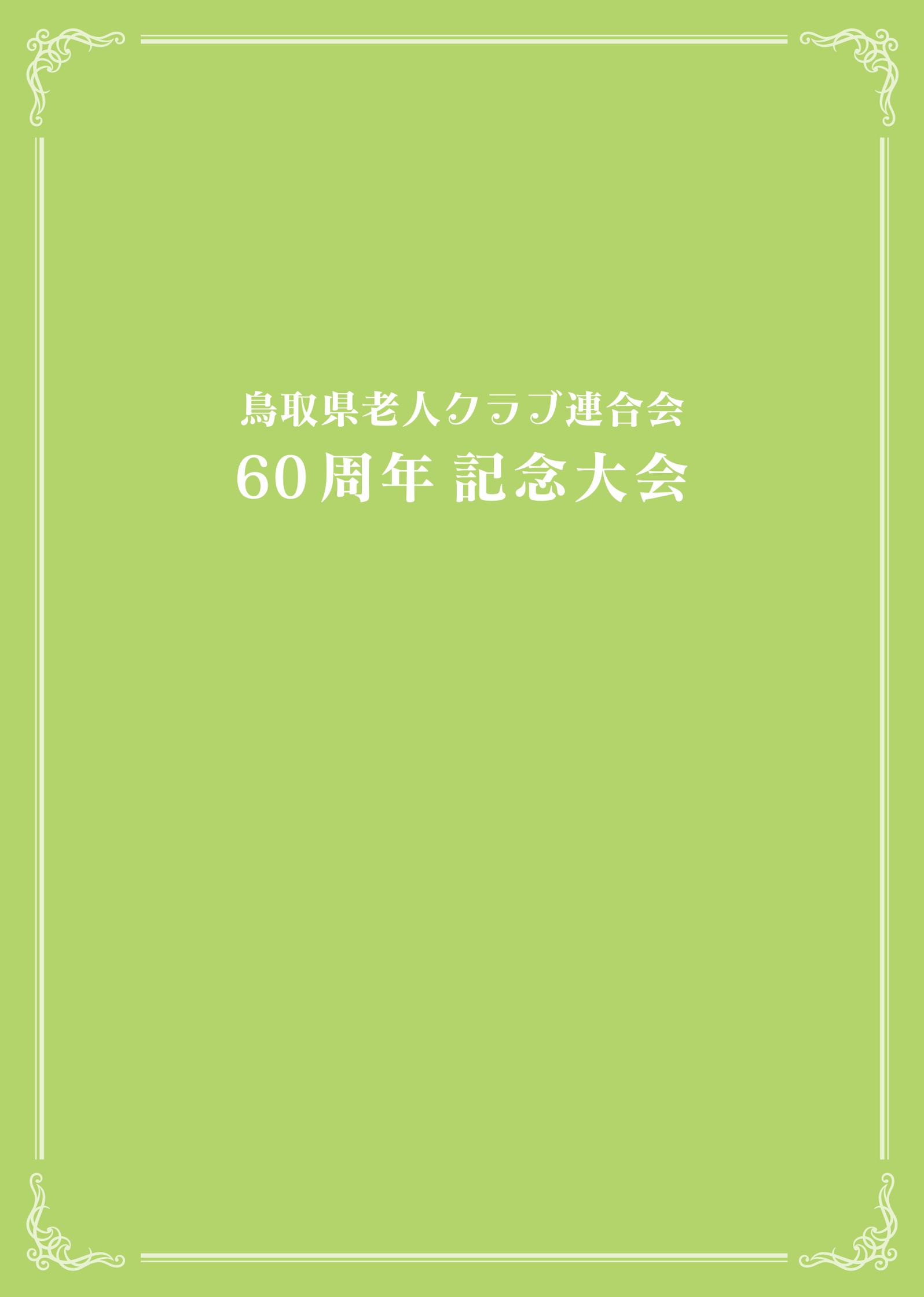
市町村老人クラブ連合会 10 年の歩み	27
------------------------	----

資料

表彰一覧	48
------	----

役員一覧	52
------	----

老人クラブ関連年表	54
-----------	----



鳥取県老人クラブ連合会
60周年記念大会

鳥取県老人クラブ連合会 60周年記念大会

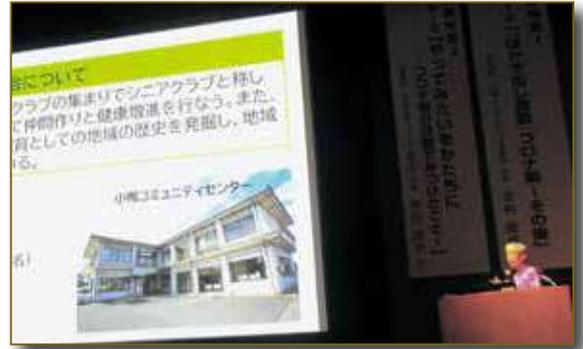


9月12日、県老連創立60周年記念大会を県民総合福祉大会と同時に米子コンベンションセンターで開催しました。大会では、伯耆町老人クラブ連合会と倉吉市の小鴨シニアクラブ協議会から発表者が登壇し、各団体の活動事例を紹介しました。発表では、高齢者支援の取り組みや地域づくりにおける成果が共有され、参加者たちはその具体的な事例や意義に共感し、熱心に耳を傾けました。

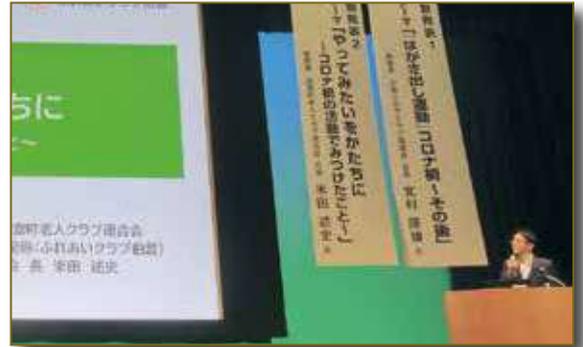
また、同年に開催した「ねんりんピックとっとり大会」のイベント「地域文化伝承館」（県老連主管）に出演された米子がいな太鼓保存会によるステージパフォーマンスも披露され、参加者を楽しませました。

活動発表

- 1** **テーマ** 「はがき出し運動」
コロナ禍～その後
- 発表者** 小鴨シニアクラブ協議会
会長 北村 隆雄 氏



- 2** **テーマ** 「やってみたい」をかたちに
～コロナ禍の活動でみつけたこと～
- 発表者** 伯耆町老人クラブ連合会
会長 米田 述史 氏
代理 事務局 森脇 大介 氏



アトラクション

米子がいな太鼓保存会と米子城武者隊によるコラボレーション演奏
米子がいな太鼓保存会・米子城武者隊





記念品として制作したボールペン



鳥取県老人クラブ連合会
10年の歩み

平成 26 年度

(2014.4 ~ 2015.3)

会員数	39,311人
クラブ数	818クラブ

人口減少や少子高齢化が進む中、鳥取県老人クラブ連合会は、高齢者の健康と福祉の増進及び地域社会の健全な発展に寄与する法人として、全国の三大運動である「健康」「友愛」「奉仕」の活動を柱に、市町村や地域の老人クラブがそれぞれの地域の先頭に立って、地域支え愛活動など諸活動に取り組んでいけるよう支援しました。

しかしながら、会員数や加入率の減少傾向から活動環境も厳しさを増し、全老連が取り組む「100万人の会員増強運動」に連動して、本会も平成30年度までに8,000人の会員増加を目指し取り組みを始めました。

本年は、創立50周年を迎え、更なる発展のため、記念事業として記念大会の開催及び記念誌の発行を行いました。

50 年史、記念大会

老人クラブ連合会は、老人クラブ相互の連絡を密にし、その育成強化を図るため昭和30年に創立され、H26年で50周年を迎えました。これを記念して、創立からこれまでの歴史を振り返るとともに、新たな一步を誓う機会として11/20倉吉未来中心で記念大会を開催し、県内各地から約700人が集いました。

また、50周年記念誌も発行しました。



女性委員会設立 20 周年記念誌の発行

女性委員会設立20周年を記念して記念誌を発行しました。平成25年に開催した「女性委員会設立20周年記念の集い」や「女性委員会20年のあゆみ」等について紹介しています。





8,000 人会員増強運動

全国老人クラブ連合会でH26年度から5ヵ年計画で「100万人会員増強運動」に取り組んでおり、鳥取県老連も連動して、期間中に8,000人の増強を目標とし、H16～25年度の10年間に減少した会員数の半分の復元を目指し「8,000人会員増強運動」に取り組みました。

ふれあい活動セミナー

「ひとり暮らしの高齢者などを支える友愛活動」の推進として、「ふれあい活動セミナー」を開催し、約140人が参加し、友愛活動と地域の関わりについてグループで話し合いました。



平成 27 年度

(2015.4 ~ 2016.3)

会員数	38,373 人
クラブ数	791 クラブ

本年 4 月に施行された改正介護保険法により、市町村において要支援者に対する独自の新地域支援事業に取り組むことになりました。これを踏まえ、老人クラブの活動が、高齢者の介護予防や生活支援に資することの周知と理解促進を図り、行政をはじめ関係者との連携・協力により、地域で暮らしているからこそできる、地域に根付いた「魅力ある活動」の創造に取り組みました。

次代を担うリーダー養成に重点を置き、「地域活動リーダー育成研修」の対象に「今後リーダーとして活動を期待する会員」を加えるとともに、全市町村老連に「若手委員会」が設置されるよう、若手会員の情報交換をスタートしました。

会員、単位クラブの減少の影響もあり、年度収支差額がマイナスに転じ、事業や法人運営の継続が危ぶまれる状況となっていることから、運営に要する財源確保について理事会での検討をはじめました。

地域若手活動リーダー育成研修会

老人クラブの社会的使命を再確認し、地域の担い手として他世代との関わりを深め、新しい仲間づくりの推進を目的に、8/25 ~ 26 の 2 日間にわたり地域活動リーダー育成研修会を開催しました。

グループ討議では、「会員加入促進について」「地域における活動について」2つのテーマをもとに、各市町村の現状と課題を積極的に発言され、まとめを行い各市町村での今後の活動の参考にさせていただきました。また、岡山県老連から講師を招き「若手を活用した“ゆめおいクラブの現状と”“これから”について」の講演を行いました。



女性リーダー研修会

男女共同参画のクラブづくりの推進として、「女性リーダー研修会」を開催しました。近年多発している「高齢者に対する悪質商法を防ぐ方法」について学び、また、各地域の加入促進、友愛・支え合い活動について、6人の方が活動発表を行いました。

その他、女性委員会では、市町村老連女性委員会活動事例発表 No.1 を作成し、配布しました。



健康づくり介護予防活動研修会

毎日手軽に行える運動と健康寿命をのばすための体づくりについて、講義と実技を行いました。

講義では、鳥取大学准教授に認知症予防の運動「コグニサイズ」の進めについて、体を衰えさせる原因、症状、対策について学びました。

実技では、良い姿勢とフォームでウォーキング、認知症予防の運動「コグニサイズ」を、県老連健康づくり推進員が講師をサポートして参加者に指導しました。



環境リサイクル推進研修会

環境への負担を減らすために一人ひとりのライフスタイルの見直しが大切なことから「生ゴミを出さないエコ方法」について、講演と実習を行いました。

鳥取県栄養士会会長から普段は捨ててしまう梨の皮や芯、エビの殻、茄子のへた等使った料理を学びました。グループで協力し合い、初めての料理に戸惑いながらも楽しく調理することができ、生ゴミの減量化が環境活動に繋がる事を改めて実感しました。



平成 28 年度

(2016.4 ~ 2017.3)

会員数	36,995 人
クラブ数	778 クラブ

老人クラブが「新地域支援事業」の担い手となり、老人クラブ会員のみならず地域の高齢者による支援の輪を広げることが、老人クラブの活性化と会員増強につながるものです。行政をはじめ関係者との連携・協力により、地域で暮らしているからこそできる、地域に根付いた「魅力ある活動」の創造に取り組むとともに、「8000 人会員増強運動」も引き続き力を入れて進めました。

事業継続のための財源問題について、初めて市町村老連会長会議を開催し、現状の共有と対応について意見交換を行いました。会費増額については、計画的に会費増額を進めている市町村老連があること、会員の退会にもつながることから継続課題とし、国債の売却により当座を凌ぐとともに、これまで「取り崩すことはできない」としていたシルバー基金の取り崩しによって事業継続することとなりました。

平成 28 年 10 月に発生した鳥取県中部地震に関して、県内市町村老連に災害救援拠金を呼びかけ、災害救助法が適用された倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町老連の単位クラブに対して救援拠金を配分しました。

交通安全地区別研修会

高齢者の交通安全の推進として、東部・中部・西部 3 地区で交通安全地区別研修会を開催しました。高齢者が占める事故割合、認知症がある方の免許証返還のタイミング（家族で話し合うなど）などお話を聞きました。講演後、鳥取県交通安全教育車「ことぶき号」の体験による能力検査、タブレットを使っての各チェックなどを通し事故が起こる要因などを考えてもらいました。

安全に楽しく交通ルールを学び、日常生活で必要な身体機能を知る良い機会になりました。



女性リーダー研修会

「今日からできる認知症予防」と題して頭と体の健康トレーニングを学ぶ参加者全員が楽しめる研修内容でした。また、鳥取警察本部生活安全企画課の警察官に「特殊詐欺にあわないために」の講演、寸劇で詐欺被害の防止をわかりやすく説明をしていただきました。

地域活動発表では、会員加入促進や地域支え合い活動を各地域で実践している内容を発表していただきました。講演や活動発表から会員一人ひとりが地域の中で信頼される存在となる事の大切さや安心して暮らせる地域づくりの大切さを学びました。

その他、女性委員会では、市町村老連女性委員会活動事例発表 No.2 を作成し、配布しました。



地域若手活動リーダー育成研修会

一人ひとりが楽しく、時代に合った魅力ある老人クラブへの活性化に向けて、若手の実行力をどう活かしていくかを目的とし、9月1日から2日の2日間にかけて研修会を開催しました。

1日目の講演では、「自分の得意が自分の役割に」と題し、クラブの一体感を強め、安心して楽しく活動できる雰囲気を作り、一人ひとりの「得意技」を役割に活かすなど老人クラブ運営に必要なポイントを学びました。2日目のグループ討議では、一人ひとりの「得意技」をどう活かし活動していくか話し合いました。



平成 29 年度

(2017.4 ~ 2018.3)

会員数	35,778人
クラブ数	755クラブ

高齢者が加害者にも被害者にもなる交通事故が非常に多く、社会問題となっている中、高齢者の交通事故の防止を図ることを目的に交通安全研修会を開催しました。研修では、高齢者の身体能力、判断能力の低下や日常の運転の慣れが交通事故を引き起こすことなどを理解し、一人ひとりが交通安全意識を持ち、普及していくことが必要であることを確認しました。

また、高齢者を狙った振り込め詐欺などの特殊詐欺も、年々手口が巧妙かつ組織的になっており、高齢者の詐欺被害防止のため、研修会を交通安全と合わせ、県警の協力を得て開催しました。

「8,000 人会員増強運動」の最終年を前に、各地での運動を加速させるため、若手活動リーダー研修会で、「若手の力で老人クラブの活性化を図る」ため、「みつばちブンブンカフェ」という新たな試みで活発な意見交換を行いました。

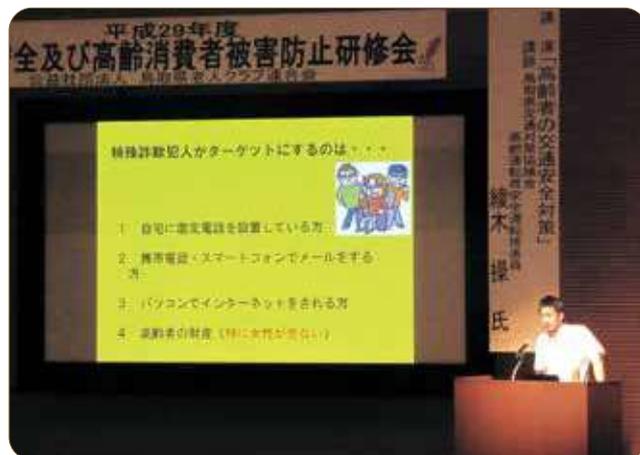
各委員会が、多くの方に参加してもらい地元を持ち帰り活動に活かせるよう、工夫を凝らした研修会を企画・運営しました。

交通安全地域別研修会
(交通安全、消費者被害防止)

高齢者の交通安全の推進として、3 地区で交通安全地区別研修会を開催しました。

交通安全研修会では、高齢者の身体能力、判断能力の低下や日常の運転の慣れが交通事故を引き起こすこと、東部では横断歩道の模擬装置の体験をし、左右確認の重要性を再確認出来ました。

高齢消費者被害防止研修では、オレオレ詐欺だけでなく電子マネーや還付金詐欺等最近増加している詐欺の手法や対策などを教えていただき、参考になりました。



女性リーダー研修会

「口の健康」と「健康な食事」と題して中部福祉保健局の歯科衛生士、管理栄養士の方に講演いただき、お口のお手入れ方法やすこやかオーラル体操という口と首の体操を体験したり、低栄養や認知症、ロコモティブシンドロームを予防するチェック項目など参加者全員が実践出来、楽しめる内容でした。

地域活動発表では、地域での声かけ活動を各地域で実践している内容の発表があり、朗読劇での発表もあり具体的な活動内容がわかる内容でした。

また、講演後は「地域での声かけ運動」について活動発表を行いました。



健康づくり介護予防活動研修会

「認知症の予防について～最近のホットトピックスを含めて～」というテーマで鳥取大学医学部の先生から、生活習慣病と認知症の関係性や認知症の予防法など学びました。

また、琴浦町役場の方に、認知症予防の運動や身近にできること、食事について、「加齢による物忘れ」と「認知症による物忘れ」の違いなどについて学びました。



地域若手活動リーダー育成研修会

活動発表として「若手委員会の活動～会員増強の推進」のテーマで境港市寿連の方に発表していただきました。

その後、「若手の力で老人クラブの活性化を図る」ことを目的とした「みつばちブンブンカフェ」というグループ討議を行い、活発な意見交換が行われました。



平成 30 年度

(2018.4 ~ 2019.3)

会員数	34,214人
クラブ数	727クラブ

本年 10 月に中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会を米子市で開催しました。7 月の開催予定を、直前に発生した「西日本豪雨災害」により延期を余儀なくされましたが、役員・スタッフの熱意に支えられ、充実した研修会となりました。

平成 26 年度から実施した「会員増強運動」の最終年でしたが、会員減少に歯止めがかからない状況であり、引き続き取り組みを進めていくこととしました。

シルバー基金取り崩しを可能としたものの、収支差額のマイナスは大きくなる一方であり、持続可能な運営のため、会費のあり方についての検討を再開。平成 31 年度市町村の均等割を会員数割に変更し、それに伴う増収は市町村老連の活動支援に充て、活動の活性化と会員増強を図ることとなりました。

交通安全地区別研修会

交通安全研修を 3 地区で開催しました。「交通加害者・被害者にならないために」をテーマに日本自動車連盟の方に講演をしてもらい、その後、シートベルトコンビンサー体験、自動車の死角体験、DVD 視聴等体験・講習会を行いました。



地域活動リーダー育成研修会

会員の新規加入の減少や会員の退会、クラブの解散などによる減少傾向が続いている中、魅力ある老人クラブ作りで、会員の加入促進を図ろうと地域活動リーダー育成研修会を開催しました。鳥取市、倉吉市、江府町の若手委員長が加入促進の成果を発表し、グループで意見交換を行い、他地域の活動事例を参考にして、自分のクラブの会員増強に繋げていくことを確認しました。



中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会【開催地 鳥取県】

7月12日から13日の2日間の予定で準備を進めていたが、7月の「西日本豪雨災害」により延期となり、10月22日から23日の2日間 米子市皆生温泉の皆生ランドホテルで開催しました。

11県市から325人が参加し、日頃の活動成果や課題を持ち寄り討議と交流を通じて、リーダーとしての資質向上と活動の充実発展を図りました。

落語家 桂 小文吾 師に、「腹から笑っていきいき人生」と題し、講演をしていただきました。

実行委員と西部地区老人クラブ会員を中心としたスタッフの方々のやる気と責任感で滞りなく研修会を終了することが出来ました。



令和元年度

(2019.4 ~ 2020.3)

会員数	32,191 人
クラブ数	695 クラブ

健康づくりの一環で、本年度初めて健康ウォーキングを実施しました。「倉吉の街並みウォーキング」とし、地元ガイドの案内で地元を知り、他の市町村の方々と交流を深める取り組みとなりました。会員・参加者から好評で毎年実施することとなりました。

高齢化、人口減少、家族・地域社会の変容などにより、今までの活動では対応しきれない課題が生じています。また、自然災害が頻発する中、地域での支え合いの必要性がこれまで以上に注目されるようになりました。老人クラブが行う「友愛活動」をより幅広く捉え、「多様な生活支援」「多様な通いの場」を念頭に地域づくりの取り組みを主体的に行っていくことを目的に、地域支え合いの必要性について学び、「支え愛マップ」づくりの体験を行いました。

今年度、初めてシルバー基金を取り崩し事業運営に充てることとなりました。

健康づくり研修会ウォーキング

健康ウォーキングの普及促進のため、本年度初めて、ウォーキングを取り入れた研修会を実施しました。

倉吉市の白壁土蔵の町並みを歩く「倉吉の町並みウォーキング」は、ウォーキングクラブ未来の方にガイドをしていただき、途中立ち寄りポイントを数か所設け、他の市町村の方々と交流を深めながらウォーキングを楽しみました。【参加者 143 人】



地域支え合い研修会

地域づくりの取り組みを主体的に行っていくことを目的に地域支え合い研修会を開催しました。「地域支え合いの必要性～暮らしやすい地域をめざして～」をテーマに県社協職員よりお話を聞いた後、実際に支え愛マップづくりを体験しました。支え愛マップの必要性や支え合いとは何なのかということ学び、地域で取り組む良いきっかけとなりました。



地域活動リーダー育成研修会

魅力ある老人クラブづくりで、若手会員の加入促進を図ることを目的として開催しました。

「新規会員加入促進活動について」事例発表から他地区の活動を知る事が出来ました。グループディスカッションでは、「魅力ある老人クラブ作りで、若手会員の加入促進を図る」というテーマで意見交換を行い、地道な声かけが重要との意見も多く、会員1人が会員外1人に声をかけることの大切さを確かめ合うなど、自分達のクラブへ活かせる内容となりました。



女性リーダー研修会

「地域にひろげよう女性の輪」をテーマに、日々実践できる各地の新しい取り組みや、活動状況について学ぶことで、女性リーダーとしてクラブ活動の活性化を図るために開催しました。倉吉市社協の職員による講演では、平成28年度の鳥取県中部地震の体験、倉吉市災害ボランティアセンターの立ち上げから活動内容等お話いただき、日頃から災害時の対処法や準備しておくことなど学び、改めて防災について見直すきっかけになりました。



令和 2 年度

(2020.4 ~ 2021.3)

会員数	30,741 人
クラブ数	666 クラブ

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で、重症化リスクが高いとされる高齢者の外出機会が減り、軽度認知症発症のリスクが高まる中、「コロナや認知症に負けない元気な高齢者」を目指し、オンラインを活用した分散型の研修の実施で事業を止めることなく取り組みました。オンラインの活用は、これまでなかなか呼べなかった県外の講師をお願いするなど、研修や活動の充実にもつながりました。

また、コロナ禍で被害が増える詐欺や悪徳商法に関する注意喚起の呼びかけや、コロナ禍の活動自粛の中でも活動できるよう「ものづくりレシピ集」の作成・配布など、女性委員会が中心となって進める活動も活発に行いました。

地域支え合い研修会

コロナ禍で、各世代間が共に支え合う地域社会づくりを考えることを目的に、各地区 3 会場に分かれ、山梨県社協職員を講師に迎え、インターネットでつなぎ、オンライン研修会を開催しました。

コロナ禍で山梨県小菅村社会福祉協議会が取り組んでいる「ウォーキング事例」について発表を聞きました。発表中にウォーキングコースを実況中継するなど、新たな手法を取り入れた今までにない発表でした。活動事例もクラブ活動に取り入れたいアイデアでとても勉強になりました。



コロナ禍での女性委員会の活動

新型コロナウイルス感染予防対策への関心につけ込んだ詐欺や悪質商法が増えていることから、女性委員会では、各市町村老連会長へ「新型コロナウイルス感染予防につけ込んだ詐欺や悪質商法」チラシを配布し、各単位クラブの女性が中心となって注意喚起を行えるよう協力を依頼しました。



コロナ禍で活動自粛をしている中でも、女性が中心となって活動できるよう「ものづくりレシピ集」を作成しました。日々の活動に活用していただけるよう、各単位クラブの女性役員へ配布したり、必要に応じて印刷していただけるよう HP へ掲載しました。

健康づくり介護予防活動研修会

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、重症化のリスクが高いとされる高齢者の外出機会が減っており、軽度の認知症発症のリスクが大きくなり心配されている中、コロナや認知症に負けない元気な高齢者を目指してオンライン研修会を開催しました。

新型コロナウイルスの感染防止対策として、参加目標数を各会場の収容人数の半分に設定、マスクの着用、受付時の検温、手指消毒、フィジカルディスタンス等徹底して行いました。

東部会場からライブ配信し、中部・西部会場はインターネットで中継しました。

「コロナに負けないで、しっかりボケ予防もしていきましょう！～とっとり方式認知症予防プログラムの紹介～」というテーマで鳥取大学医学部 加藤准教授にお話を聞きました。



健康づくり研修会 ウォーキング

大山町名和でウォーキング研修会を開催しました。「名和太平記コースウォーキング」とし海コース(1.5 km)、山コース(3 km)に分かれ、ウォーキングクラブ未来の方のガイドで地元の歴史を学びながらウォーキングを楽しみました。

鳥取県内の新型コロナウイルスの感染状況を心配しながらの開催ではありましたが、ウォーキングがストレス解消や運動不足解消、フレイル予防につながることから、しっかりと感染防止対策を行なって開催しました。

みなさん、地域のクラブ活動が自粛されている中での参加だった為、久しぶりの外出ということもありイキキとしておられました。参加して良かったという声も多く聞かれました。 【参加者 146人】



地域活動リーダー育成研修会の代替事業

研修会を新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から中止としましたが、予定していた事例発表をDVDにまとめ、クラブ活動に活用していただくこと各市町村老人クラブへ配布しました。



令和 3 年度

(2021.4 ~ 2022.3)

会員数	28,838人
クラブ数	634クラブ

新型コロナウイルス感染症が広がるなか、外出自粛や活動の中止等で閉じこもりがちになり、心身機能が低下し「フレイル（虚弱）」になる高齢者が増えることが心配されています。県老連は、「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマに、心身の健康づくりに努め、自立した生活、生きがいのある生活を実現するため、他世代や諸団体と連携しながら、安心・安全の地域づくりを目指しました。

鳥取県から「とっとり方式認知症予防プログラムの普及・啓発」「ICT 活用支援」の2事業を受託し、啓発研修やスマホ教室、若手委員会・女性委員会では他県老連とオンラインで意見交換を行うなど、コロナ禍での活動の幅を広げました。「三密」回避や ICT 活用といった「新しい生活様式」を取り入れた新たな活動により地域の高齢者の仲間づくりをすすめ、引き続き会員増強に向けて取り組みました。

ICT 活用支援事業

スマホに慣れ親しみ、スマホを使って遠方の家族と会話をしたり、地域の方と交流するなど、高齢者の ICT を使ったコミュニケーションの支援を目的としてスマホ教室を各地区3会場で開催しました。

スマホ教室は、入門コース、基礎コース、応用コースと各地区で全9回行いました。指導には、日本海ケーブルネットワークの方をお願いし、丁寧に教えていただきました。

この教室をきっかけに、クラブでグループLINEを作ったり、孫とLINEが出来るようになったと大変喜ばれました。



女性リーダー研修会

女性委員会が中心となって作成した「ものづくりレシピ集」を活用した体験型物づくり研修会を開催しました。「自分の得意分野」を活かし、各クラブ等でリーダー活動の輪を広げていただき、より多くの女性リーダーの育成やクラブ活動の活性化を図りました。



とっとり方式認知症予防プログラムの普及・啓発

鳥取県が日本財団と共同で開発した鳥取県独自の「とっとり方式認知症予防プログラム」は、「運動（50分）」「座学（20分）」「知的活動（50分）」を組み合わせた一連のサイクルを継続して行うことで、「認知機能」の改善や「身体機能」の向上の効果がみられます。

運動プログラムは、準備体操・有酸素運動+頭の体操・筋力運動+頭の体操・整理体操で構成されていて、体力に自信のない方でも安全に行えるように考えられています。

知的活動は、運動プログラムと合わせて、さまざまな認知機能をまんべんなく刺激する活動を行うことが大変重要です。

このプログラムの組み立て方や継続するための仕組み作りを学び、県内に普及させるため啓発研修会を県内5か所で開催しました。

また、フォローアップとして希望があったクラブでプログラムの体験を支援しました。



Web 意見交換会

コロナ禍でオンライン会議等が増え、県外の老人クラブの方と Zoom を使って意見交換会を行いました。若手委員会では、高知県老連若手委員会と両県の活動報告等を意見交換しました。

女性委員会では、一人ひとりがパソコンを使用し、初めての Zoom を体験しながら、女性委員会の在り方についてなど熊本県老連と意見交換会を行いました。



健康づくり研修会 ウォーキング

日本最古の歌集「万葉集」が作られた時代や国指定史跡である「因幡国庁跡」等『古代因幡と万葉文化にふれるコース』をウォーキングしました。池田家墓所から宇倍神社を参拝し万葉歴史館まで歩く3kmコースと大伴家持歌碑や因幡国庁跡をめぐる2kmコースとに分かれ、いなば国府ガイドクラブの方にガイドしていただきながら古代因幡の歴史について学びました。

【参加者 165人】



令和 4 年度

(2022.4 ~ 2023.3)

会員数	26,589人
クラブ数	614クラブ

県老連は、「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマに、心身の健康づくりに努め、自立した生活、生きがいのある生活を実現するため、他世代や諸団体と連携しながら、安心・安全の地域づくりを目指しました。

「とっとり方式認知症予防プログラム普及・啓発事業」「ICT活用支援事業」の受託は、県老連としてメインテーマに沿った事業の幅を広げることにつながりました。

令和6年度に開催予定の「ねんりんピック鳥取大会 地域文化伝承館」に向けて、理事会・委員会での検討、市町村老連への説明など準備を始めました。

県知事・県議会議長への要望が実り、これまで2/3であった県補助金の補助率が3/4にアップしました。これも、受託事業の実績が評価され、老人クラブの存在意義が認められたものと思います。

ICT 活用支援事業

ICTの利用・活用により多様な情報を得ることで高齢者の健康づくりや仲間づくりに繋げていただくため県内13カ所でスマホ教室を開催しました。

スマホ教室は、日本海ケーブルネットワークと中海テレビの方々に指導していただき、LINEの使い方をメインに、google マップの使い方や普段困っている事などについて丁寧に教えていただきました。



男女共同参画推進事業

男女共同参画推進事業の研修会は、「とっとり花回廊」で開催しました。参加者100名が、3グループに分かれ男女で協力して寄せ植え体験等を行いました。

男女問わず誰でも出来るガーデニングの知識や花の育て方などを学びながら、参加者同士の交流を深めました。

地域の活動に活かし、仲間づくりや地域づくりへと繋がることを期待しています。



とっとり方式認知症予防プログラムの普及・啓発

コロナ禍で外出自粛や活動自粛などで体力低下や認知機能の低下が心配される中、フレイル予防・認知症予防として「とっとり方式認知症予防プログラム」に取り組むため、地域のリーダーとなる高齢者や公民館・社協・地域包括支援センター等の職員を対象にサポーター養成研修会を県内5か所で開催しました。プログラムの取り組みへ役立ててもらうため、研修会のグループワークで出た「知的活動」のアイデアをまとめた「知的活動 アイデア集」も作成しました。

また、老人クラブ会員を対象にリーダー養成研修会も併せて開催しました。知的活動について考えるグループワークでは、日頃の活動がどの「認知機能」を刺激し、どんな効果があるのか確認し、今後のクラブ活動に繋がる研修会となりました。



健康づくり研修会 ウォーキング

令和4年度のウォーキングは、湯梨浜町東郷湖畔、中国庭園「燕趙園」周辺に設けられた脳トレや筋トレなどのチェックポイント（13ヶ所）をグループで回り、ポイントを獲得していくオリエンテーリング方式のウォーキングを行いました。

からだへの負担が少なく、いつでも手軽に出来る「ウォーキング」に「脳トレ」や「筋トレ」を取り入れることで、楽しく筋力運動でき、転倒・骨折防止にも繋がるウォーキングになりました。【参加者 188人】



健康づくり介護予防活動研修会

健康づくり、フレイル予防・介護予防の向上に繋げていただくことを目的に各地区3会場にてニュースポーツ体験会を開催しました。

鳥取県フォークダンス連盟の方の指導でレクリエーションダンスを行った後、ラダーゲッター体験を行いました。

「ニュースポーツ」は、誰でも気軽にすぐ楽しむことができるスポーツです。体験会后、ラダーゲッターを活動に取り入れたクラブもありました。



令和 5 年度

(2023.4 ~ 2024.3)

会員数	24,807人
クラブ数	583クラブ

令和 6 年度に開催されるねんりんピックはばたけ鳥取 2024 地域文化伝承館の実行委員会・企画運営委員会を立上げ、本格的に準備を始めました。愛媛大会において「伝承館旗」を受取り機運が一段と盛り上がりました。

鳥取大会を盛り上げるため、初めて正式種目となる鳥取県発祥の「バウンスボール」の体験会を開催しました。

「ICT の活用支援」として Zoom 研修を実施し、「とっとり方式認知症予防プログラム」啓発研修をハイブリッドで開催し、自宅や地元でも研修会等に参加できる体験を行いました。プログラムの普及を進めるため、実践型のリーダー養成や、「モデル地区」での取り組みを進めました。

とっとり方式認知症予防プログラムの普及・啓発

「とっとり方式認知症予防プログラム」普及啓発事業では、ICT の活用として Zoom 研修会（3 会場）を開催し、その後、Zoom を活用したハイブリッド型啓発研修会を 5 か所で開催しました。

また、プログラムを取り組むうえでリーダーとなる方を育成する、実践型のリーダー養成研修会も各地区 3 会場で開催しました。

その他、プログラムを実際に取り組んでいただく「モデル地区」を設置しました。



ウォーキング

恒例のウォーキングは、「とっとり花回廊」で行いました。グループで24か所のポイントを回りクイズに答えるクイズラリー方式のウォーキングでした。広い敷地内に設置したポイント箇所を探しながら、花回廊に関連するクイズなどに答え、最後に答えたポイントの多いグループに賞品を贈りました。すべてのポイント箇所を回ったグループは、ヘトヘトになったけど楽しかったと満足されていました。【参加者 189人】



ニュースポーツ体験会

鳥取県発祥の「バウンスボール」は、令和6年に開催される第36回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取2024）の正式種目となり、県老連でもニュースポーツ体験会として、各地区3会場で、鳥取県バウンスボール協会の方の指導のもと体験しました。

体験してみると、運動量が多く思うようにいかない事もありましたが、ルールは簡単で初めての参加者も楽しめました。



地域文化伝承館視察（愛媛県）

令和6年度 鳥取県で「地域文化伝承館」を開催するため、企画運営委員会を中心に16人が、愛媛県の「地域文化伝承館」の視察に行きました。

3日目の閉館式では、鳥取県へ伝承館旗の伝達式が行われました。

令和6年度の鳥取大会の成功に向けて連合会一丸となって進んでいくことを固く決意した瞬間でした。





【令和4年度健康づくり研修会 ウォーキング「燕趙園」】



市町村老人クラブ連合会
10年の歩み

鳥取市

老人クラブ連合会

(昭和 39 年 10 月 1 日設立)

クラブ数	会員数
203 クラブ	8,895 人

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

歴代 会長名 (H26～)	沖田 博敬	平成 17 年 5 月～平成 29 年 5 月
	森田 秀雄	平成 29 年 5 月～令和 3 年 5 月
	山本 章	令和 3 年 5 月～現在

1. 組織 (委員会・部会等)

R5 現在

- 総務部 ○社会奉仕部 ○交通安全部
- 広報部 ○研修部 ○健康推進部
- 女性委員会 ○若手委員会

2. 主な事業・活動

R5 現在

- (1) 研修会
 - ・運営研修会
 - ・理事視察研修会
 - ・女性委員長等研修会 など
- (2) 地区老人クラブ育成
 - ・社会奉仕活動
 - ・友愛訪問活動 など
- (3) 高齢者の芸能大会・大運動会 (隔年開催)
- (4) 東部地区高齢者健康運動会
- (5) 新規加入促進助成事業
- (6) その他
 - ・市老連会報『ことぶき』年 2 回発行
 - ・老人の明るいまち推進事業 (市社協) への協力
 - ・交通安全運動開始式・パレードへの参加
 - ・共同募金運動への協力
 - ・女性委員活動推進事業 (ミニしゃんしゃん傘づくり)

3. これからの事業の展望

市老連として「在り方検討委員会」を設立し検討を行う。

- ・地区 (旧市) と支部 (新市) の在り方
→ R 7 年度より地区という名称で統一する。
- ・組織、事業、財務、事務局体制 など
- ・新事業の検討



ミニ傘づくりの様子

10年間のあゆみ

(H 26 ～ R 5)

平成 26 年度

◆ 50 周年記念事業

出雲玉造 1 泊旅行 一体感と太い絆ができた。

平成 27 年度

◆ 会員数増加 3 年計画 1 クラブあたり 3 人増を目指す。

平成 28 年度

◆ 市老連が社会福祉法人鳥取県共同募金表彰を受賞

◆ 会費及び補助金の見直し

平成 29 年度

◆ 市老連会長職交替

沖田会長から森田会長へ

平成 30 年度

◆ 会報「ことぶき」フルカラーへ

令和 元 年度

◆ 新規クラブの結成要綱見直し

30 人 → 10 人へ

令和 2 年度

◆ 会報「ことぶき」第 100 号発行

◆ 新型コロナウイルス感染予防の為、総会は書面会議へ

令和 3 年度

◆ 市老連会長職交替

森田会長から山本会長へ

令和 4 年度

◆ 市老連 活動スローガン決定

「生かそう! 保とう! 老人パワー」

(令和 4 年度 総会で発表)



市老連 活動スローガン決定



しゃんしゃんミニ傘づくり

岩美町 老人クラブ連合会

(昭和 39 年 8 月 1 日設立)

クラブ数	会員数
16 クラブ	1,019 人

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

歴代 会長名 (H26 ~)	日下部武志	平成 22 年 4 月 ~ 令和 2 年 3 月
	横田 光男	令和 2 年 4 月 ~ 令和 5 年 9 月
	中澤 博之	令和 6 年 4 月 ~ 現在

1. 組織 (委員会・部会等)

R5 現在

- 女性部 ○若手委員会

2. 主な事業・活動

R5 現在

岩美町老人クラブ連合会では、全国三大運動である「健康・友愛・奉仕」を基本に高齢者が地域で助け合い・支え合いながら、生きがいを持って暮らせる活動に取り組んでいる。

- (1) 新規会員加入に重点をおき、組織基盤を図る。
- (2) 老人クラブ役員の研修及び女性リーダー・若手リーダーの養成等資質向上を図る。
- (3) 健康づくり・介護予防活動を積極的に推進し、会員の健康寿命の延命に努める。
- (4) ボランティア活動や社会奉仕活動を実施し、社会貢献に努める。
- (5) 地域の高齢者との交流をとおした仲間づくりの促進や他世代との交流を図る。
- (6) 交通安全対策事業を実施し、事故防止に努める。
- (7) 老人クラブ活動に対する地域社会の理解を深めるための啓発広報を行う。

3. これからの事業の展望

コロナ禍で会員の心身、活力の低下が心配される中、認知症・介護予防のための健康づくり事業や減少の続く会員の加入促進事業に注力し、クラブ活動の活性化を図る。

また、町内3つの小学校と協力し、校内の空き教室を利用して各単位クラブの役員会等を開催後、授業参観や児童との交流会食会ができるよう働きかけていく。孫世代との会話



健康・仲間づくりグラウンドゴルフ大会

により、会員のフレイル予防にも繋がり、ひいては次世代を担う子どもたちの「豊かな心」を育み、「開かれた学校づくり」の一助となるよう、他世代との交流事業の推進を図っていく。

10年間のあゆみ

(H 26 ~ R 5)

平成 26 年度

- ◆町老ク連 50 周年記念事業として、第 4 回健康ウォーキング大会を 200 人規模で開催
- ◆地域活動リーダー研修会で「若手委員会について」事例発表(横田若手委員長)

平成 27 年度

- ◆会員加入促進パンフレットを作成し、町内全戸配布
- ◆全老連育成功労表彰 小原大忍
- ◆内閣府表彰 網代あけぼの会老人クラブ

平成 28 年度

- ◆新規会員加入促進助成事業開始
- ◆全老連育成功労表彰 日下部武志
- ◆東部地区高齢者健康運動会 関所破り優勝

平成 29 年度

- ◆内閣府表彰 浦富 4 地区老人クラブ

平成 30 年度

- ◆新事業「健康・仲間づくりグラウンドゴルフ大会」開催
- ◆東部地区高齢者健康運動会 2 冠
ボールころがし・玉入れ優勝

令和 2 年度

- ◆東部地区老人クラブ連合会設立
- ◆地域活動リーダー育成研修会 事例発表(横田連合会長)

令和 3 年度

- ◆全老連活動賞受賞 岩美駅前長寿会老人クラブ

令和 4 年度

- ◆東部地区老人クラブ連合会事務局担当
- ◆新事業「女性部会員親睦交流会」開催

令和 5 年度

- ◆老人クラブ会員の情報交換会事例発表(稲葉若手委員長)
- ◆東部地区高齢者健康運動会 玉入れ優勝(県下でも 1 位)



R5 東部地区高齢者健康運動会

八頭町

老人クラブ連合会

(平成 17 年 5 月 19 日設立)

クラブ数	会員数
36 クラブ	1,659 人

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

歴代会長名 (H26 ~)	古井 喜紀	平成 25 年 4 月 ~ 平成 29 年 3 月
	岡森 裕	平成 29 年 4 月 ~ 現在

1. 組織 (委員会・部会等)

R5 現在

- 組織 (町連・郡家支部・船岡支部・八東支部)
- 部会 (女性部・研修部・体育部・広報部・予算委員会)

2. 主な事業・活動

R5 現在

【事業】

- ・会員日帰り研修
- ・町連、各支部ごとの役員研修
- ・福祉大会 (講演会・芸能発表・懇親)
郡家・船岡・八東各支部それぞれを会場に開催
- ・ウォーキング大会 (全会員対象)
八頭町の史跡を訪ねて (年ごとに 3 地域を順番)
- ・グラウンドゴルフ大会 (全会員)
(郡家 2 会場・船岡・八東それぞれを会場に開催)
- ・女性部会員研修 (全会員対象講演会等)
- ・女性部役員研修 (視察、フレイル予防体操、寄せ植え等実習)
- ・広報紙年 1 回発行 (町連・郡家支部)
- ・奉仕活動
(活動場所) 女性部：公共施設
船岡支部：小学校等公共施設など

【活動】

「社会参加活動促進事業」「地域支え合い事業」「新規会員の加入促進」を重点目標として取り組んでいる。

- ・全単位クラブで神社や公民館の清掃活動、地域の広場等の花植え、除草、毎日の水やり等の奉仕活動
- ・地域の介護予防教室等の積極的開催や参加
- ・会員相互による見守り活動や、老クの魅力や事業案内等の声掛けによる加入促進

3. これからの事業の展望

- ・コロナ流行のため休止していた事業の復活
- ・単位クラブの活性化のための積極的な事業応援
- ・脱会クラブの再加入や会員の増加のための事業を展開していきたい。



世代間交流

10年間のあゆみ

(H 26 ~ R 5)

- ◆平成 17 年度 町村合併に伴い「八頭町老人クラブ連合会」を設立
旧町村老人クラブを支部とする。
- ◆平成 19 年度 女性部発足

平成 29 年度

- ◆事務局の一本化
- 令和元年度
- ◆全老連育成功労表彰
- ◆古井喜紀氏受賞

令和 2 年度

- ◆郡家支部 55 周年記念会報発行
- ◆会員一泊研修を日帰りに変更

令和 3 年度

- ◆コロナ流行のため友愛訪問等に重点を置き活動したが補助金対象事業がなかなか開催できず、返金、補助金報告等事務手続きが変更となる。
- ◆補助金の取り扱いについて臨時総会開催→クラブ数の大幅な減少→個人会員制の導入
- ◆コロナのため「運動会」に変えウォーキング大会、グラウンドゴルフ大会を開催
- ◆支部ごとの女性部を町連に一本化する。

令和 5 年度

- 全老連育成功労表彰 岡森裕氏受賞



スポーツ大会



ウォーキング大会



福祉大会

若桜町 老人クラブ連合会

(昭和44年4月設立)

クラブ数	会員数
10クラブ	257人

(令和6年4月1日現在)

歴代会長名 (H26～)	藤原 源市	平成26年4月～平成28年3月
	坂本 等	平成28年4月～令和4年3月
	山本 賢二	令和4年4月～現在

1. 組織（委員会・部会等）

R5 現在

○理事会 ○女性委員会 ○同和教育推進委員

2. 主な事業・活動

R5 現在

- ・会員の健康維持のため「老人スポーツ大会」、「グラウンドゴルフ大会」を開催
- ・毎年、数千本の花幼苗を育成し、町内の公共施設や学校及び各支部へ配布する「花づくり事業」を実施
- ・会員対象に、交通安全・犯罪被害防止・災害防止・健康管理などの研修を開催
- ・友愛活動事業として、独居老人宅訪問や公園・神社などの環境美化を実施
- ・町民対象の「健康福祉大会」を開催し、運動による健康づくり、生活の中での運動習慣を身に付け、体力を維持・改善し、寝たきりゼロを目指す活動を実施

3. これからの事業の展望

本町は令和6年8月末現在で人口2,716人、高齢化率51.06%と過疎化・高齢化が進行し、若桜町老人クラブ連合会の会員は257人で単位クラブが10単位と非常に少ない現状です。会員は役職になるのを嫌い、選任時期がくると退会者があり新規加入者も思うように集まらない状況です。

今後は若桜町老人クラブ連合会の主催事業は現状を維持し、単位クラブとの連携を深め、リーダーの養成を図りながら、健康教育の研修や講座の講師の紹介、社会見学場所の情報提供等に努め、役員の負担を軽減するために事業毎に役割分担を決めるなどの工夫が必要です。



グラウンドゴルフ大会



花づくり事業



若桜町老人スポーツ大会

10年間のあゆみ

(H26～R5)

- ◆昭和61年より続く「老人スポーツ大会」は、「明るく、楽しく、元気よく」のスローガンのもと開催。令和2年～4年度は新型コロナウイルスのため中止し、令和5年度に3年ぶりの開催
- ◆平成3年より続く「花づくり事業」では、毎年数千本もの幼苗を育成して学校や公共施設、各支部に配布している。
- ◆いつまでも元気で生きがいのある生活を送るために「健康福祉大会」を毎年開催
- ◆「グラウンドゴルフ大会」を毎年開催し、会員の健康維持に努めている。

令和2年度

- ◆「はがき出し運動」
- ◆八頭郡老人クラブ連合会(八頭町、智頭町、若桜町)から岩美町が加わり東部地区老人クラブ連合会設立

令和3年度

- ◆東部地区高齢者運動会
ラダーゲッター優勝

令和5年度

- ◆東部地区老人クラブ連合会
事務局担当

智頭町

老人クラブ連合会

(昭和 49 年 4 月 1 日設立)

クラブ数	会員数
10クラブ	248人

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

歴代 会長名 (H26～)	青山 宏	平成 25 年 4 月～平成 27 年 3 月
	田中 潔	平成 27 年 4 月～平成 29 年 3 月
	國政 隆昭	平成 29 年 4 月～平成 31 年 3 月
	宮内 忠彦	平成 31 年 4 月～令和 3 年 3 月
	國岡 俊一	令和 3 年 4 月～令和 5 年 3 月
	葉狩 健一	令和 5 年 4 月～令和 7 年 3 月

1. 組織（委員会・部会等）

R5 現在

- 町老人クラブ連合会理事
- 女性委員会
- 若手委員会
- 体育委員
- 高齢者交通安全協力者

2. 主な事業・活動

R5 現在

- ボランティア活動
 - ・ボランティア清掃活動(公民館周辺、神社・寺、旧小学校周辺)
- 生きがいのための活動
 - ・友愛・支え合い事業
 - ひとり暮らし高齢者の安否確認、困りごとの手伝い、小学校児童の登下校時の見守り
- 伝承・世代間交流事業
 - ・小学校 4 年生児童にグラウンド・ゴルフ伝承
 - ・小学校 1 年生児童に昔遊びを伝承
- 健康活動
 - ・男の料理教室
 - ・健康教室(室内スポーツ大会)
 - ・智頭町高齢者スポーツ大会(旧:智頭町老人スポーツ大会)
 - ・県東部地区高齢者健康運動会
 - ・町健康増進大会 年 2 回開催
- 学習・リーダー研修
 - ・同和学習会
 - ・交通安全教室
 - ・町リーダー研修会
 - ・各種役員研修会

3. これからの事業の展望

- ・今後の老人クラブとしては、高齢化率 45.34%の智頭町の中で老人クラブ会員を増やし、フレイル予防や認知症予防の研修・活動を行うなど、各種活動を通して仲間をつくり、健康寿命を延ばしていきたい。
- ・高齢者ならではの知恵や経験を活かし、次世代育成や社会貢献活動を通じた地域の繋がりがりづくりにも努めたい。



健康増進大会 湯梨浜町 (2023.10)

10年間のあゆみ

(H 26 ～ R 5)

- ◆令和 2 年度「智頭町老人スポーツ大会」から「智頭町高齢者スポーツ大会」に名称を変更
令和 2 年度～ 4 年度はコロナで中止
令和 5 年度 第 46 回開催(170 名)
- ◆健康増進大会
令和 2 年度と令和 3 年度の第 1 回はコロナで中止
令和 4 年度(延 156 名)
令和 5 年度 2 回開催(延 184 名)
- ◆健康教室
令和 4 年度、令和 5 年度にポッチャを購入(3 組)
令和 5 年度ポッチャ大会を開催
(講師:鳥取県障がい者スポーツ協会、28 名参加)
- ◆町グラウンド・ゴルフ大会
令和元年度第 9 回開催(90 名)
令和 2 年度～ 3 年度はコロナで中止
令和 4 年度第 10 回開催(86 名)
令和 5 年度大雨で中止
- ◆伝承・世代間交流事業
小学校 1 年生児童の昔遊び(屋内授業)
令和 2 年度～ 4 年度はコロナで中止
- ◆単位クラブ変更・退会
平成 26 年度 富沢地区第一、第二長寿会が 1 単位に変更
令和 4 年度 智頭地区東区・西区松寿会が 1 単位に変更
令和 5 年度 やまがた楽笑クラブ退会



智頭町高齢者スポーツ大会 (2023.9)

倉吉市 老人クラブ連合会

(昭和38年8月1日設立)

クラブ数	会員数
40クラブ	1,593人

(令和6年4月1日現在)

歴代会長名 (H26～)	中林 正樹	平成26年4月～令和4年3月
	山口 博敬	令和4年4月～現在

1. 組織（委員会・部会等）

R5 現在

- 研修委員会…研修及び研修旅行に関すること。
- 交通安全委員会…交通安全・防犯に関すること。
- 体育委員会…各種スポーツ大会に関すること。
- 若手委員会…活動の活性化と組織拡大に関すること。
- 社会活動委員会…社会奉仕・福祉活動に関すること。
- 広報委員会…広報活動に関すること。

2. 主な事業・活動

R5 現在

- 各種大会の実施
 - ・共同募金運動への協力
 - ・グラウンド・ゴルフ大会
 - ・各市町村との交流、視察等
 - ・ペタンク大会
 - ・各種大会への参加、協力
 - ・囲碁・将棋大会
 - ・奉仕活動の実施(各地区)
 - ・ラージボール卓球大会
 - ・高齢者健康運動会への参加
 - ・パットゲームスター大会
 - ・「市老連だより」の発行
 - ・健康マージャン親睦大会
- クラブ教室の運営、助成
 - ・歌謡、踊り、大正琴、囲碁・将棋、健康マージャン
- 各種研修大会の開催
 - ・単位クラブ会長
 - ・幹部研修会
- 友愛事業の実施
 - ・友愛訪問活動の実施
 - ・米寿祝
- 他世代交流事業の実施(各地区)
- 県外研修旅行の実施
- 交通安全啓発活動の実施



健康マージャン大会

10年間のあゆみ

(H 26 ~ R 5)

平成26年度

◆倉吉市社会福祉協議会創設60年シンポジウムで、活動状況を発表

平成27年度

◆市老連クラブ教室(踊り・歌謡・大正琴)の会員が、介護老人保健施設に交流訪問

平成28年度

◆共同募金運動70周年記念で、10年以上にわたり寄付の累計額が300万円以上の団体として、「社会福祉法人中央共同募金会長」を受賞

平成29年度

◆「鳥取県中部地区(1市4町)高齢者健康運動会」で「ホールインワン」「大玉ころがし」「ボウリング」「玉入れ」の全種目で優勝

平成30年度

◆市老連主管の「倉吉市高齢者囲碁・将棋大会(倉吉市長杯・倉吉議会議長杯・倉吉市社会福祉協議会)」第40回記念大会を開催

令和元年度

◆「鳥取県美術館」が令和6年度に倉吉市に開館となることに伴い、「美術館」を支える活動や応援する活動を学ぶための「研修会」を開催

令和2年度

◆中部医師会三朝温泉病院より、研修会「フレイル予防」を開催

令和4年度

◆「スマホ教室」を開催

令和5年度

◆「倉吉市秋の交通安全啓発パレード」に初参加



秋の交通安全啓発パレード

湯梨浜町

高齢者クラブ連合会

(平成 17 年 4 月 1 日設立)

クラブ数	会員数
24 クラブ	880 人

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

歴代 会長名 (H26～)	山下 宣昭	平成 23 年 5 月～平成 27 年 4 月
	浜田征次郎	平成 27 年 5 月～令和 3 年 4 月
	水野 彰	令和 3 年 5 月～現在

1. 組織 (委員会・部会等)

R5 現在

- 役員会 (会長 1 名、副会長 3 名、理事 15 名、会計 1 名、監事 3 名 合計 19 名) 年間 5 回開催
- 広報部会 (部長 1 名、副部長 1 名、部員 7 名 合計 9 名) 年 4 回開催 広報紙「湯梨浜だより」2 回発行

2. 主な事業・活動

R5 現在

高齢者クラブの原点である「仲間づくり、健康づくり、生きがいづくり」を推進し、一層の組織・活動の充実強化を図るため、以下の事業を実施

- 湯梨浜町高齢者クラブ連合会 福祉大会
- 湯梨浜町高齢者クラブ連合会 体力づくり大会
- 湯梨浜町高齢者クラブ連合会 会員交流研修会 (スカットボール大会)
- 中部地区老人クラブ連絡協議会 GG大会
- 中部地区高齢者健康運動会
- 湯梨浜町高齢者クラブ連合会 支部活動 (羽合地区、東郷地区、泊地区) (友愛訪問、花づくり活動、生きがい活動)

3. これからの事業の展望

令和 2 年度から令和 4 年度「新型コロナウイルス感染症」の発生により、高齢者の日常生活や老人クラブ活動に大きな影響を及ぼした。単位クラブや会員の減少が進み、認知症予防についても積極的に取り組む必要がある。今後、単位クラブを減らさない取り組みとサロン活動の取り組みを進めていく。また、若手委員会の設置に向けて取り組んでいく。



湯梨浜町高齢者クラブ福祉大会



湯梨浜町高齢者体力づくり大会



湯梨浜町高齢者クラブ会員交流会

10年間のあゆみ

(H 26 ~ R 5)

- ◆令和 2 年 8 月 全国老人クラブ連合会 2020 活動賞を羽合地区「松友会」と東郷地区「門田寿会」が受賞
- ◆令和 4 年 3 月 パンフレット「入会申込書」を作成し、新規会員の入会促進を図る。
- ◆令和 4 年 11 月 全老連創立 60 周年記念「全国老人クラブ大会」(東京都国技館)に鳥取県老人クラブ連合会の代表として出席
- ◆令和 5 年 7 月 令和 5 年度中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会で「とっとり方式認知症予防プログラム」普及促進の取組みについて事例発表
- ◆令和 5 年 9 月 第 50 回国際福祉機器展 & フォーラム(東京国際展示場「東京ビックサイト」)で「鳥取県老人クラブ連合会による健康づくりの取組み」について事例発表

三朝町 老人クラブ連合会

(昭和57年設立)

クラブ数	会員数
9クラブ	221人

(令和6年4月1日現在)

歴代 会長名 (H26～)	山口 正明	平成25年4月～平成31年4月
	山本 邦彦	平成31年4月～令和5年4月
	田栗 幸人	令和5年4月～現在

1. 組織（委員会・部会等）

R5 現在

○総務広報委員会 ○体育厚生委員会 ○女性委員会

2. 主な事業・活動

R5 現在

【基本方針】

三朝町老人クラブ連合会として、また、会員の一人として、「元気で・仲良く・地域に役立つ」を合言葉に、「生活を豊かにする活動」や「地域を豊かにする社会活動」に取り組み、コロナに負けず、高齢期を幸せに生きることができるよう、次のことを基本目標として、日常活動に取り組みます。

1. 健康寿命を延ばし、健康な毎日を心がけます。 (健康)
2. 会員を増やし、皆と仲良く楽しい活動を目指します。 (友愛)
3. 「来た時よりも美しく」を合言葉に環境の美化に努めます。(奉仕)
4. ジグの留守番役として「あいさつ・声掛け・見守り」運動を推進します。
5. 心を寄せ合い、支えあいの地域づくり(福祉の町づくり)に励みます。
6. 行政や関係機関・団体と連携して、高齢者福祉施策の向上を目指します。

【事業計画】

1. 町連合会活動の充実
 - (1) 役員研修会の開催
 - (2) 女性委員会の活性化
 - (3) 中部・県連合会事業への積極的参加
 - (4) 魅力ある新規事業の検討
2. 各単位クラブの組織強化
 - (1) 町老ク連の活動目標の徹底
 - ①活動目標を意識し、各単位クラブ毎に組織・事業の点検と事業の見直しを行う。
 - ②会員拡大方策の検討、勧誘・啓発活動の強化を行う。
 - (2) 単位クラブの交流会・研修会へ会長並びに事務局の派遣

3. これからの事業の展望

老人クラブは生涯学習の場であり、楽しむ場であり、それらが誰でも体験出来る場があります。また、活動を通し、人とのつながりを大切にし、それぞれの生活が安心して送れ、地域の活性化にも繋がるような取り組みを展開していきます。

皆さんと一緒に健康で楽しく笑いの多い活動を目指していきます。

10年間のあゆみ

(H 26 ～ R 5)

平成26年度～平成30年度

◆1泊2日研修旅行、グラウンドゴルフ大会、広報紙発行(年2回)を軌道に乗せ、研鑽活動の中で仲間づくりを図る。

平成31年度

◆新会長の就任

◆三徳シニアクラブ加入により単位クラブ数が9つへ

令和2年度

◆コロナ禍により、事業の規模縮小・中止が相次いだ。

◆会員向けアンケートを実施

令和3年度

◆町老ク活動目標の改正

令和4年度

◆行政へ働きかけ、難聴高齢者に対する三朝町独自の補助金制度施行へと繋がった。

令和5年度

◆新会長の就任



女性委員会 トマトづくり



小鹿老人クラブ 日帰り旅行



三徳シニアクラブ 研修旅行

北栄町

老人クラブ連合会

(平成 18 年 4 月 1 日設立)

クラブ数	会員数
19 クラブ	614 人

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

歴代 会長名 (H26～)	西村 英昌	平成 24 年 4 月～平成 29 年 3 月
	岩垣 毅	平成 30 年 4 月～令和 4 年 3 月
	田中 陽子	令和 4 年 4 月～令和 6 年 3 月
	吉田 康博	令和 6 年 4 月～現在

1. 組織 (委員会・部会等)

R5 現在

- 教養部会
- 広報部会
- 保健体育部会
- 女性部会

2. 主な事業・活動

R5 現在

【基本方針】

高齢化は今後ゆるやかな増加に転ずる一方、若い世代の人口は急速に減少することが予測され、社会の発展や活力の維持が懸念されます。

長期化した新型コロナウイルスによる感染症により、外出自粛や活動の中止等で閉じこもりがちになり、心身機能が低下し虚弱(フレイル)になる高齢者が増えることが心配されましたが、コロナ感染症が5類に移行となったことで、各事業の推進に力を入れてまいります。

本連合会は、仲間づくりと健康づくり・介護予防を基本に環境美化、ボランティアなど幅広い地域との交流を通して、高齢者が安心して暮らせる町づくりに努めています。

しかし、高齢化による会員数の減少や、役員の担い手が少ない等、単位老人クラブ自体の存続が困難な状況も見受けられます。

それらの課題を克服するためにも、新規会員の勧誘や若手会員の協力による活性化などに取り組み、会員数の減少に歯止めをかけるとともに、地域にあった魅力ある老人クラブを目指します。

【重点目標】

- (1) 単位老人クラブの活性化
- (2) 健康活動の推進
- (3) 地域における友愛(支え合い)活動の推進
- (4) 新規会員の加入促進
- (5) 若手会員の活動推進
- (6) 連合会及び各部ごとの自主的な事業運営

3. これからの事業の展望

老人クラブの共通の悩みである会員の高齢化、会員数の減少、これからの課題の解決策を考えていく必要がある。

それには若い世代(特に60歳代)の新規会員の獲得にむけた連合会はもちろんのこと、各単位クラブの活動自体が若い世代の方々のニーズに合った活動になっているかよく考え、再構築していく必要がある。

10年間のあゆみ

(H 26 ~ R 5)

平成 26 年度

- ◆湯梨浜町老ク連研修会活動発表
- ◆支え合い事業視察研修(伯耆町老ク連)

平成 27 年度～

- ◆単位老人クラブ支え合い活動事業開始

平成 27 年度～平成 30 年度

- ◆高校生との異年齢交流会

平成 30 年度

- ◆湖南省(滋賀県)老ク連との交流

平成 28 年度～令和 2 年度

- ◆町内歴史探索研修会

主な事業

- ◆教養部 高齢者福祉大会
- ◆保健体育部 健康運動会
スポーツ大会(グラウンドゴルフ・ペタンク・パットゲームスター)
- ◆女性部 福祉施設慰問
- ◆広報部 『北栄町老ク連だより』年2回発行
- ◆その他 奉仕作業年2回



高齢者福祉大会



グラウンドゴルフ大会



健康運動会

琴浦町 高齢者クラブ連合会

(平成 17 年 4 月 1 日設立)

クラブ数	会員数
9クラブ	478人

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

歴代 会長名 (H26～)	田中 明	平成 26 年 4 月～令和 5 年 3 月
	榎田 勝充	令和 5 年 4 月～現在

1. 組織（委員会・部会等）

R5 現在

- 総務委員会
- 教養委員会
- 体育委員会
- 広報委員会
- 厚生委員会
- 女性委員会
- 交通安全協力員

2. 主な事業・活動

R5 現在

住み慣れた地域で健康で生きがいを持ち、安心して暮らせる地域づくりを進めていくことを重点として活動している。地域・福祉団体との連携を密にしながら、高齢者クラブに対する理解を広げ「魅力ある活動」を主眼とし、以下を重点目標として活動に取り組んでいます。

- ①魅力あるクラブづくりと加入促進
- ②単位クラブ活動の活性化支援と環境づくり
- ③相互に支え合う健康づくり・介護予防、友愛活動の推進
- ④琴浦町、及び社会福祉協議会が行う高齢者事業への積極的参加奨励
- ⑤社会参加の一環とした福祉のまちづくりに協賛(社会奉仕活動等)
- ⑥琴浦町介護保険事業計画・高齢者福祉計画の推進

3. これからの事業の展望

我が琴浦町高齢者クラブでは高齢化が進み会員数が減少しているのが現状です。

会員が気軽に参加でき、楽しみや生きがいを感じてもらえるような魅力のある活動内容を企画し取り組んでいくことで若手委員会の促進・会員増強など、新しい仲間づくりに取り組んでいきたい。

また、元気に暮らす為の体力づくり・フレイル予防・認知症予防等、高齢者クラブ会員はもちろん、会員外の高齢者の健康増進に取り組み、住み慣れた地域でいきいき・はつらつとした生活が送れるような事業活動を進めていきたい。



地域支え合い活動花苗植え作業



スポレク大会



高齢者のつどい

10年間のあゆみ (H 26～R 5)

平成 26 年度

- ◆地域支え愛支援活動事業の実施
友愛訪問活動、子どもの見守り・安全確保等の活動の継続

平成 29 年度

- ◆琴浦町スポレク大会開催
町内の保育園児等の応援もあり約 400 名参加し、盛大に開催

令和 2～3 年度

- 新型コロナウイルス感染拡大し、連合の年中行事、活動も中止や縮小等感染対策を図りながら行う。単位クラブ毎に創意工夫しながら活動する。琴浦町女性委員会、「物づくり体験型研修会」の講師として参加

令和 4 年度

- ◆女性委員会でシトラスリボンを作成し、会員へ配布

令和 5 年度

- 連合での開催に向けて、eスポーツ体験・研修会に参加し実際に体験

米子市

老人クラブ連合会

(昭和42年1月16日設立)

クラブ数	会員数
50クラブ	1,895人

(令和6年4月1日現在)

歴代会長名 (H26～)	木村 定雄	平成26年4月～現在
-----------------	-------	------------

1. 組織（委員会・部会等）

R5 現在

- 会長 ○副会長(兼)総務部長(兼)若手委員長
- 副会長(兼)文化部長 ○副会長(兼)体育・交通安全部長
- 副会長(兼)社会部長 ○副会長(兼)女性部長(総務担当)
- 副会長(兼)組織・環境部長(会員増強推進担当)

2. 主な事業・活動

R5 現在

本会のクラブ数・会員数減少は、新型コロナ感染拡大で外出や活動自粛。状況下5月8日法定「5類」が決定。本会は高齢者の健康維持、人とひととの交流や繋がり増進を目指し、「新しい生活様式」を実践創意工夫で「フレイル予防・通いの場づくり」に取り組む。

本会は、「伸ばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」を主題とし、多様な活動・組織化に向けて会員の意識高揚や有用性への理解の深度化に努め必要な情報提供を行う等単位クへの事業取組に対し支援を行う。

来年度の第33回地域文化伝承館開催に向けた他世代や諸団体協力を得るため行政自治体等一層の連携を図り、更に「クラブ活動と会員増強」に取り組む活動目的で各5部に事業計画策定し、理事・総会で協議決定し「希望2回/年発行」全会員配布・周知啓発に努め事業運営活動を行う。

3. これからの事業の展望

今後は、これらの実情も考慮しながら、会員のフレイル・認知症・介護予防等高齢者の健康寿命の延伸に直結するアウトドア活動に重点を置いたニュースポーツや、継続中（地元文化財等）のガイド付研修ウォーキング、日帰り県外ウォーキング研修旅行等積極的に企画実践します。

なお、新型コロナ禍等の影響に伴う単位クラブ数・会員数の減少の挽回・組織強化推進のために、会員相互の絆・繋がりや関係機関行政団体等との連携強化・推進を図ります。



平成28年度米子市高齢者福祉大会・創立50周年記念大会

10年間のあゆみ

(H 26 ~ R 5)

平成27年度

- ◆「黒部立山・アルペンルート等」
- ◆「第4回高齢者顕彰・福祉慰安演芸大会」

平成28年度

- ◆那智の大滝・紀伊温泉と南紀周遊の旅
- ◆第25回高齢者福祉大会・市老連創立50周年記念大会

平成29年度

- ◆関ヶ原の合戦探訪・名古屋周遊長日温泉の旅
- ◆若手委員開設10周年（節目の年：委員9名）
- ◆第5回高齢者顕彰・福祉講演会

平成30年度

- ◆平成30年度中国四国ブロックリーダー研修会 皆生温泉大会

令和元年

- ◆「しまなみ海道、万田酵素パーク & 西日光耕三寺の旅」

令和2年

- ◆広島周遊平和資料館・広島城とお好み焼き村等
- ◆会員増強とコロナ禍に負けない研修会和田地区第1寿会紹介

令和3年

- ◆明石市高年ク連合会理事長との交流研修会
- ◆鳥取城跡等・河原城見学、白兔神社参拝の旅

令和4年

- ◆健康づくりフレイル予防「出雲大社観光ウォーク」

令和5年

- ◆全老ク連創立60周年記念全国大会（市老連1名表彰）
- ◆県総合福祉大会（市老連被表彰者3名：会長外1名）
- ◆高齢者フレイル・介護予防ウォーク & 広島市文化探訪



史跡文化観光研修「フレイル・介護予防ウォーク」

境港市

ことぶきクラブ連合会

(昭和39年9月15日設立)

クラブ数	会員数
29クラブ	2,083人

(令和6年4月1日現在)

歴代会長名 (H26～)	門脇 眞澄	平成23年4月～平成28年12月
	沼澤 義信 (代行)	平成29年1月～平成29年4月
	川口 昭一	平成29年4月～現在

1. 組織（委員会・部会等）

R5 現在

- 理事会
- 総務委員会
- 文化委員会
- 健康委員会
- 広報委員会
- 女性委員会
- 若手委員会
- 研修旅行委員会
- 傾聴委員会

2. 主な事業・活動

R5 現在

「のぼそう！健康寿命・担おう！地域づくり」を合言葉に、会員はもとより、全ての高齢者が住み慣れた地域で健康で楽しく、生きがいのある生活を実現するため、関係団体と連携し安全・安心のまちづくりを目指す事業に取り組んでいる。

- (1) 理事会
 - ・各委員会の事業計画の承認
- (2) 総務委員会
 - ・会員加入促進
 - ・規約、規定の改正に関する事項
 - ・サイクリングコース応援隊清掃奉仕
 - ・新年研修会
- (3) 文化委員会
 - ・さかみみなど幸朋苑演芸発表会
 - ・ことぶき文化祭
 - ・ことぶき作品展
 - ・歌謡クラブ
 - ・写真を語る会
- (4) 健康委員会
 - ・グラウンドゴルフ大会(市交通安全協会共催)
 - ・シャッフルボード大会
 - ・ニュースポーツ大会
 - ・健康づくり研修会 境港市・市寿連共催
 - 『フレイル予防』『認知症予防』(年2回)
- (5) 広報委員会
 - ・広報誌発行
 - ・ホームページの運営
 - ・川柳大会
- (6) 女性委員会
 - ・ことぶき研修会
 - ・友愛訪問(年3回)
 - ・施設訪問
 - ・友愛活動員研修会
 - ・各種行事へのバザー出店
- (7) 若手委員会
 - ・ターゲットバードゴルフ大会
 - ・健康ウォーキング大会
- (8) 研修旅行委員会
 - ・市寿連会員の研修旅行企画実行
- (9) 傾聴委員会
 - ・施設での傾聴ボランティア活動
 - ・傾聴講演会
 - ・傾聴ボランティア養成講座受講

3. これからの事業の展望

「健康・友愛・奉仕」を基本として、従来の事業に懸命に取り組む一方で昨今の高齢者の価値観にも着目し、会員の多様化するニーズに合った事業を各委員会からの発案、見直し等によって展開する。

地域の高齢者が気楽に参加して、現役時代の知識技能を活用できる活動場所として高齢者クラブがあることを広報等で周知徹底して会員増強に努める。

10年間のあゆみ

(H 26 ～ R 5)

平成26年度

- ◆市寿連創立50周年大会
- ◆市寿連傾聴委員会発足

平成27年度

- ◆会員85名増で全老連から特別賞受賞
- ◆県外研修旅行 沖縄2泊3日

平成28年度

- ◆交通事故防止交通安全研修会開催
- ◆第1回傾聴講演会

平成29年度

- ◆市寿連HP開設 5月から本格稼働
- ◆今治市老連若手委員と交流会

平成30年度

- ◆境港市包括支援センターと「フレイル予防講演会」共催実施
- ◆中四国ブロックリーダー研修会

令和元年度

- ◆第7回ことぶき研修会
- 「認知症の人と暮らして35年」講師 堀永敦臣氏

令和2年度

- ◆コロナ禍における新規事業展開
- ◆幸せつなぐ川柳大会(広報委員会)
- ◆写真を語る会(文化委員会)

令和3年度

- ◆サイクリングコース応援隊清掃奉仕

令和4年度

- ◆新日本海新聞ふるさと大賞2021 地域貢献賞受賞
- ◆入会促進リーフレット作成自治会配布

令和5年度

- ◆「スマホ教室」開催
- ◆境港済生会病院清掃奉仕

令和6年度

- ◆鳥取県済生会表彰特別功労賞受賞
- ◆eスポーツ練習大会



新日本海新聞地域貢献賞受賞



白砂青松サイクリングコース清掃

南部町

老人クラブ連合会

(平成 17 年 4 月 26 日設立)

クラブ数	会員数
12 クラブ	569 人

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

歴代会長名 (H26 ~)	安達 幸男	平成 26 年 4 月 ~ 令和 2 年 3 月
	庄倉三保子	令和 2 年 4 月 ~ 現在

1. 組織 (委員会・部会等)

R5 現在

- 総務委員会
- 体育委員会
- 文教委員会
- 若手委員会
- 女性委員会

2. 主な事業・活動

R5 現在

【健康づくり】

- ◎春：健康スポーツ大会(グラウンドゴルフ・ニチレクボール)
- 秋：健康福祉運動会
健康ウォーキング大会(若手委員会)
- 通期：単位クラブでの活動を実施

【友愛活動】

- ◎秋：講演会・芸能大会
グラウンドゴルフ大会
- 通期：単位クラブで旅行やサロンなどを実施

【奉仕活動】

- ◎ 1 人 1 枚雑巾運動⇒各所へ贈呈(女性委員会)
- ◎単位クラブでの地域内清掃活動などを実施

【全般】

- ◎広報活動(会報を 2 回 / 年発行し町内全戸に配布)
- ◎事務や会計を含めた組織運営を全て老ク連で行っている。

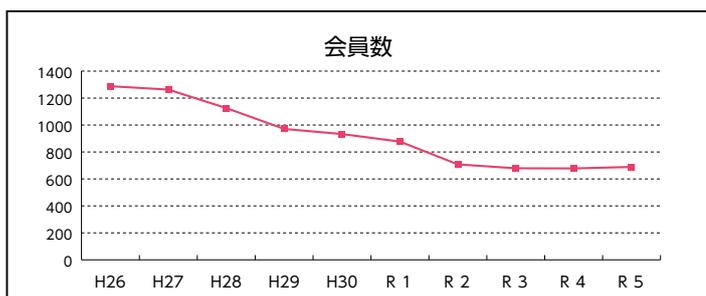
3. これからの事業の展望

【縮充時代の組織の在り方とは?】

・下記のグラフの通り、高齢化と団塊世代後の方々の加入減少により 10 年で会員数が半減している。従来の踏襲を続けることから脱却し、組織そのものの在り方や事業を検討する。

4. 会員数の推移

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
会員数	1,288	1,263	1,126	971	933	877	708	679	678	689



10年間のあゆみ

(H 26 ~ R 5)

平成 26 年度

- ◆年 3 回の新宮谷公園除草作業
(地域奉仕と自主財源確保) R 1 迄継続実施
- ◆講演会・芸能大会開催(38 組が参加)現在も継続
- ◆西伯地区・会見地区の 2 か所で運動会開催(~R 1 迄実施)
- ◆県老連モデル指定のウォーキング大会開催(若手委員会)
- ◆岩美町老連女性委員会が来町され交流会実施
- ◆会報「ふれあい」を年 2 回発行 町内全戸に配布(継続中)

平成 29 年度

- ◆女性委員会主催のグラウンドゴルフ大会秋にも開催

令和 2 年度

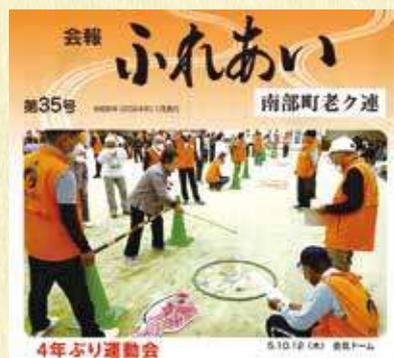
- ◆新型コロナ蔓延防止で定期総会を始めとして殆どの大会や行事が中止となる。

令和 3 年度

- ◆検温やマスクを着用して講演会・芸能大会、グラウンドゴルフ、ウォーキング大会を開催

令和 5 年度

- ◆西伯地区、会見地区合同運動会を初開催 現在も継続
- ◆日吉津村老連女性委員会が来町され交流会実施



会報を 2 回 / 年発行



若手委員会によるウォーキング大会

伯耆町 老人クラブ連合会

(昭和 39 年 4 月 1 日設立)

クラブ数	会員数
36 クラブ	1,249 人

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

歴 代 会長名 (H26 ~)	瀬山正八郎	平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月
	米田 述史	平成 29 年 4 月～現在

1. 組織（委員会・部会等）

R5 現在

- 役員 16 名(理事 14 名、監事 2 名)
- 専門部 21 名(総務・福祉教養部 7 名、健康体育部 7 名、表彰審査 7 名)
- 若手委員会 12 名 ○女性委員会 12 名
- 広報委員会 5 名

2. 主な事業・活動

R5 現在

【重点目標・事業】

1. 加入促進運動・助成

会員加入促進運動の実施(10月、11月、冬季)、
広報紙発行
体験会員募集(会員増、休会クラブ復活、新たな
クラブの設置)
若手・女性委員会によるニーズ把握・事業立案・実施 など

2. 支え合い活動の定着・普及

伯耆町老人福祉大会の開催
支え合い研修会、交通安全研修会の実施
支え合い活動実施クラブへの活動支援・助成
居場所づくりの普及・促進(伯耆ふれあいサロン実施) など

3. 健康寿命の維持・増進

地区別ふれあい運動会の実施
親善グラウンドゴルフ大会の実施(年 2 回)
親善ゴルフコンペの実施(年 2 回)
親善ボウリング大会の実施(年 2 回)
ウォーキング・スクエアステップの実施(年 6 回)
いきいき百歳体操の普及・推進
e スポーツの普及推進 など

3. これからの事業の展望

コロナ禍の経験を活かし、あきらめない活動！

1. やってみたい活動を増やすこと。
～やりたいことがある！みつかる！なければつくる～
2. 身近な仲間を増やすこと。
～ひとりぼっちをつくらない！ひとりぼっちにならない～
3. 地域に居場所を増やすこと。
～住み慣れたジゲで仲間と集う！元気に笑顔で過ごす～

10年間のあゆみ (H 26 ~ R 5)

平成 27 年度

- ◆ 50 周年記念イベント開催
- ◆ 50 周年記念誌発行

平成 30 年度

- ◆ 支え合いアンケート実施 ニーズ調査・課題分析着手

令和 元 年度

- ◆ 愛称募集

令和 2 年度

- ◆ 「ふれあいクラブ伯耆」誕生
- ◆ いきいき百歳体操開始
- ◆ 伯耆ふれあいサロン開始

令和 4 年度

- ◆ e スポーツ開始

全国老人クラブ連合会表彰

令和 3 年度

- ◆ 活 動 賞 荘あすなる会

令和 4 年度

- ◆ 活 動 賞 宮原老人クラブ
- ◆ 会長表彰 駅前老人クラブ

令和 5 年度

- ◆ 活 動 賞 友の会坂長
- ◆ 会長表彰 宮原老人クラブ



楽しむこと！つながること！



であい ふれあい ささえあい

日吉津村

老人クラブ連合会

(昭和 43 年 4 月 1 日設立)

クラブ数	会員数
5クラブ	128人

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

歴代 会長名 (H26～)	高塚 勇	平成 21 年 4 月～平成 27 年 3 月
	高橋 健治	平成 27 年 4 月～令和 元 年 3 月
	林 順一	令和 元 年 4 月～令和 元 年 12 月
	吉崎 勇	令和 2 年 1 月～現在

1. 組織 (委員会・部会等)

R5 現在

○広報部 ○体育部 ○女性部 ○友愛部

2. 主な事業・活動

R5 現在

日吉津村老人クラブ連合会では、4つの部会をつくり活動内容について協議、実施している。

- ① **広報部**: 毎月老人クラブ会報を作成し、会員へ配布している。その他にも、日吉津小学校との交流(1、2年生を対象にさつま芋の苗植え、芋掘り)や、役員を対象にした研修を企画している。
- ② **体育部**: 会員の健康増進に関する活動を企画、実施している。主に、グラウンドゴルフ大会、ニュースポーツ大会を行い、健康増進を図るとともに、会員同士の交流の機会にも繋がっている。
- ③ **女性部**: 文化的、奉仕的活動を行っている。使用済みの雑巾、タオルを回収し、日吉津村内の事業所(デイサービスやこども園等)へ雑巾としての活用を目的に配布している。『高齢者の為の料理教室』を開催し、高齢者が作りやすい料理を学ぶ機会をつくっている。
- ④ **友愛部**: 友愛活動を実施。主に、デイサービス利用者との交流会や、予防脳トレ研修会、支え愛マップ作り研修会等を企画、実施している。
- ⑤ **その他**: 日吉津海岸清掃や、赤い羽根共同募金(街頭募金・法人募金)にも協力し、幅広く活動している。

3. これからの事業の展望

日吉津村老人クラブでは、定期的にグラウンドゴルフ大会やニュースポーツ大会も開催している。より多くの方に参加してもらい、高齢者のフレイル予防、認知症予防など高齢者の健康増進に繋がる活動を引き続き行っていく。

また課題としては、年々会員が減少していることがあげられる。今後、新規会員を増やしていきたいと考えている。その取り組みとして、老人クラブが主催する研修会等に会員以外の方も参加できるように幅広く周知し、老人クラブについてのPRをすることを考えている。

10年間のあゆみ

(H 26 ～ R 5)

平成 27 年度

◆「日本海新聞ふるさと大賞 2015」地域貢献賞 受賞

平成 28 年度

◆全国老人クラブ連合会 活動賞 受賞

平成 29 年度

◆他市町村老人クラブ連合会交流
→境港市ことぶきクラブ連合会

令和 2 年度

◆高齢者の為の料理教室 開始

令和 3 年度

◆シトラスリボン作成
→支え愛訪問(日吉津村内 80 歳以上の方の訪問)で活用

令和 4 年度

◆交通安全金魚作り
→金魚のマスコットを作成、会員等に配布

令和 5 年度

◆他市町村老人クラブ連合会交流
→南部町老人クラブ女性部
◆フレイル予防研修会の開催
◆村長講演会及びねんりんピック試写会実施



シトラスリボン作成



小学校との交流: 芋苗植え

大山町 老人クラブ連合会

(昭和 17 年 4 月 1 日設立)

クラブ数	会員数
36 クラブ	1,114 人

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

歴代 会長名 (H26 ~)	黒田 隆弘	平成 26 年 4 月 ~ 平成 31 年 3 月
	清見 久夫	平成 31 年 4 月 ~ 現在

1. 組織（委員会・部会等）

R5 現在

- 大山町連合会
(連合会会長・連合会役員) 連合会事業、女性委員会
- 大山・名和・中山の3支部が独自の規約で運営
(支部長・支部役員) 各支部事業、女性委員会
- 単位クラブ 各支部に所属、集落・地域ブロックで設置

2. 主な事業・活動（連合会、支部） R5 現在

■活動のテーマ

私たち高齢者の居場所づくり、単位クラブ活動を補う
連合会・支部

■組織強化(単位クラブ、会員)

チラシ作成、口コミによる情報交換、呼びかけ

■リーダー、世話役の育成・発掘

■女性委員会の活動(自主運営)

フラワーアレンジメント、健康講座等

■健康講座の実施

フレイル予防、認知症予防への取り組み
(とっとり方式認知症予防を中心テーマとして)

■スポーツ・レクリエーション等

運動会(各支部)
グラウンド・ゴルフ大会(連合会、各支部)
ポッチャ大会、ボウリング大会

■社会奉仕活動

大山周辺地域の一斉清掃(春、秋) 支部毎の清掃活動

3. これからの事業の展望

- 老人クラブの存在意義(老人クラブに求められるもの)
(重層的に存在する高齢者団体との関係・連携が必要)
- 組織維持のための単位クラブ数、会員数の確保、個人
会員(行政、社協の高齢者福祉事業との情報連携等を行
う)
- 組織規模と連合会、支部等の組織編成の妥当性
- より魅力ある事業の検討(新設・改廃)
(多様化に対応するのか、具体的課題に特化するのか)
- 「高齢者の居場所づくり」への信念

10年間のあゆみ (H 26 ~ R 5)

令和 元年度

- ◆会長(清見久夫)

令和 2 年度

- ◆定期総会(中止)、書面決裁

コロナ禍により、室内型、対面型事業を停止

令和 3 年度

- ◆定期総会(中止)、書面決裁

令和 4 年度

- ◆定期総会(開催)

令和 5 年度

- ◆定期総会(開催) 各支部運動会復活
- ◆とっとり方式認知症プログラム



岩美町女性委員会との交流会



女性のつどい フラワーアレンジメント



西部地区高齢者健康運動会

日南町

老人クラブ連合会

(昭和39年1月20日設立)

クラブ数 会員数

8クラブ 237人

(令和6年4月1日現在)

歴代 会長名 (H26～)	山浦 久	平成25年6月～平成27年6月
	浅川 三郎	平成27年6月～令和元年6月
	足羽 正敬	令和元年6月～令和3年6月
	坪倉 幸徳	令和3年6月～令和5年6月
	大塚 武史	令和5年6月～現在

1. 組織（委員会・部会等）

R5 現在

- 女性委員
- 若手委員

2. 主な事業・活動

R5 現在

令和2年度よりコロナ禍で活動が著しく停滞した。

3年間に多くの単位クラブが脱会・解散した。令和4年度より活動を再開したが、町内で集まることが以前より難しくなった。

令和6年はねんりんピックが鳥取県で開催される。これを機に再び老人クラブを活性化すべく活動を行っている。

3. これからの事業の展望

わが町はすでに人口減少になっており、高齢者の数は減っていく見込みだ。一方で高齢化率は上がる見込みである。

人数が減ってくるので、大きな活動は難しくなるが、高齢化率が上がるということで、各単位クラブの会員内でお互いに協力し合って、支え合いの町づくりに寄与していきたい。



町内めぐり

10年間のあゆみ

(H 26 ～ R 5)

平成27年度

- ◆広報誌 つぶやきの発行

平成29年度

- ◆町内めぐり事業開始

令和2年～4年

- ◆新型コロナウイルス感染拡大で事業や研修会等が縮小した。各単位クラブで創意工夫し、事業に取り組んだ。



グラウンド・ゴルフ



伯耆町老人クラブ連合会との研修会

日野町 老人クラブ連合会

(昭和41年8月6日設立)

クラブ数 会員数

2クラブ 33人

(令和6年4月1日現在)

歴代 会長名 (H26～)	生田 正明	平成25年6月～平成30年8月
	佐々木秀男	平成30年8月～令和元年5月
	勝瀬 節雄	令和元年5月～現在

1. 組織（委員会・部会等）

R5 現在

○女性委員会

2. 主な事業・活動

R5 現在

- ・日野町グラウンドゴルフ親睦交流大会主催
- ・西部地区高齢者健康運動会参加
- ・しめ縄づくり
- ・ピンポン交流会
- ・日野学園・日野高校生徒との交流
- ・料理講習会

3. これからの事業の展望

県内で、一番少ない会員数ではありますが、健康づくりや仲間づくりに重点を置き、健康第一に活動を行ってまいります。

令和5年度は日野学園が小中一貫校とし、県立日野高等学校とあわせ、今まで以上に生徒さんとの交流に力を入れていきます。さらに地域住民（高齢者）とも交流を深めていき、日野町が住みやすく過ごしやすい町になる一助になればと考えています。



日野学園生徒との交流



西部地区高齢者健康運動会の様子 (R1)



料理講習会の様子 (R2)

10年間のあゆみ (H 26 ~ R 5)

令和元年度

- ◆単位クラブにて、百歳体操開始
- ◆料理講習会にてブリの解体ショー実施

令和3年度

- ◆しめ縄づくり初開催
- ◆グラウンドゴルフ大会賞品に地元企業が協賛

令和4年度

- ◆所属単位クラブが3→2に減少

令和5年度

- ◆ピンポン交流会初開催
- ◆小中一貫校「日野学園」開校に伴い、交流の幅が広がる
- ◆グラウンドゴルフ大会賞品の協賛企業が増加

江府町

老人クラブ連合会

(昭和 38 年 9 月 14 日設立)

クラブ数	会員数
16 クラブ	479 人

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

歴代 会長名 (H26 ~)	川上 博久	平成 25 年 4 月 ~ 平成 27 年 4 月
	河上 貞也	平成 27 年 4 月 ~ 平成 29 年 4 月
	三輪 貴憲	平成 29 年 4 月 ~ 平成 31 年 4 月
	石原 一男	令和 元 年 4 月 ~ 令和 3 年 4 月
	一二三八郎	令和 3 年 4 月 ~ 令和 5 年 4 月
	加持谷典範	令和 5 年 4 月 ~ 現在

1. 組織 (委員会・部会等)

R5 現在

- 女性委員会
- 若手委員会

2. 主な事業・活動

R5 現在

江府町老人憲章 (抄)

- 一、わたくしたちはまず健康を守ります。
- 一、わたくしたちは年老いても、いつまでも学習をつづけます。
- 一、わたくしたちは長かった経験を生かし家庭や社会に役立つようつとめます。

上記と「健康・友愛・奉仕」の理念を元に、下記のような事業と活動を行っております。

- 【1】教養講座的な事業
役員による研修会の開催(連合会、単位クラブ会長、各委員会)
- 【2】友愛・奉仕活動事業
花いっぱい運動(年 2 回単位クラブへの花の苗配布)
保育園児との交流
町内老人施設への慰問(女性委員会)
- 【3】生きがい・健康活動事業
江府町高齢者スポーツ大会
ふれあいグラウンドゴルフ大会(若手委員会)
健康ウォーキング(若手委員会)
- 【4】その他の事業
老ク連だよりの発行
単位クラブへの支援

3. これからの事業の展望

- ◆若手委員会の重点活動として、休止クラブの活動復活に向けた支援を強化し、会員の増加に努める。
- ◆会員や会員外で、独居・高齢者のみの家庭が増加している現状を踏まえ、友愛活動を強化し、日常支援の充実を図る。
- ◆健康寿命を伸ばすことを目的に、運動・食生活の改善に向けた単位老人クラブへの情報提供の充実を図る。

10年間のあゆみ

(H 26 ~ R 5)

平成 27 年度

- ◆大山町老ク連名和支部との交流研修会開催

平成 29 年度

- ◆三朝町・江府町老ク連女性委員会交流研修会開催

平成 30 年度

- ◆新規事業として後継者育成を目的とした、元気づくり推進研修会を 3 ヶ年計画で実施

令和 3 年度

- ◆単位クラブの池の内常盤会が、優良老人クラブとして「全国老人クラブ連合会長表彰」受賞
- ◆休止クラブに対する検討委員会を設置、調査・訪問を開始

令和 5 年度

- ◆個人参加単位クラブ「楽楽会」創設
- ◆単位クラブの池の内常盤会が、内閣府政策統括より「防災功労者防災担当大臣表彰」受賞



ふれあいグラウンドゴルフ大会



健康ウォーキング



江府町高齢者スポーツ大会

表彰一覧

■ 鳥取県老人クラブ連合会会長表彰

(所属役職名は、前年度の3月31日時点のもの)

平成26年度

田見 義人	鳥取市老人クラブ連合会	前副会長
市村 淑樹	鳥取市老人クラブ連合会	理事
川木 勢逸	鳥取市老人クラブ連合会	副会長
綱田 良夫	鳥取市老人クラブ連合会	常任理事
田中 次郎	倉吉市老人クラブ連合会	副会長
渋谷 実	倉吉市老人クラブ連合会	理事
橋谷 美鈴	倉吉市老人クラブ連合会	理事
松永 林造	境港市ことぶきクラブ連合会	理事
藪内 清志	境港市ことぶきクラブ連合会	理事
小原 大忍	岩美町老人クラブ連合会	副会長
山崎 洋一	八頭町老人クラブ連合会	前会長
小山喜代見	智頭町老人クラブ連合会	前理事

小林 敏郎	智頭町老人クラブ連合会	監事
宮本 哲郎	湯梨浜町高齢者クラブ連合会	副会長
桜井 篤夫	湯梨浜町高齢者クラブ連合会	前理事
日置 勝彦	北栄町老人クラブ連合会	前理事
雑賀 黎子	南部町老人クラブ連合会	副会長
井原 孝	伯耆町老人クラブ連合会	理事
福吉 艶子	伯耆町老人クラブ連合会	理事
圓山美満子	伯耆町老人クラブ連合会	理事
山崎 茂幸	大山町老人クラブ連合会	前副会長
下村 道夫	江府町老人クラブ連合会	前理事
財木ことぶきクラブ	境港市	
門田 寿会	湯梨浜町	

平成27年度

森田 秀雄	鳥取市老人クラブ連合会	副会長
山根 三郎	鳥取市老人クラブ連合会	理事
山根 博	鳥取市老人クラブ連合会	常任理事
福井 清	倉吉市老人クラブ連合会	副会長
木村 定雄	米子市老人クラブ連合会	会長
日下部武志	岩美町老人クラブ連合会	会長
岡部 和史	八頭町老人クラブ連合会	理事
井尻 昭	八頭町老人クラブ連合会	副会長
北田 恭子	湯梨浜町高齢者クラブ連合会	副会長
津村 寛昭	湯梨浜町高齢者クラブ連合会	理事
宮脇愛之介	北栄町老人クラブ連合会	監事

長谷川隆秀	北栄町老人クラブ連合会	理事
野口 隼人	大山町老人クラブ連合会	理事
原 美智子	南部町老人クラブ連合会	副会長
後藤 定雄	伯耆町老人クラブ連合会	理事
下村 有象	伯耆町老人クラブ連合会	理事
後 房雄	江府町老人クラブ連合会	理事
藤原 昭仁	江府町老人クラブ連合会	監事
川上 博久	江府町老人クラブ連合会	会長
芝町長寿友の会	境港市	
今岡 祐一	鳥取県老人クラブ連合会	前会長

感謝

平成28年度

竹内準太郎	鳥取市老人クラブ連合会	副会長
遠藤 量	境港市ことぶきクラブ連合会	理事
松本 熙	境港市ことぶきクラブ連合会	監事
西村 節雄	岩美町老人クラブ連合会	副会長
知久馬二子	三朝町老人クラブ連合会	理事

西田 和恵	三朝町老人クラブ連合会	理事
洞ヶ瀬正之	湯梨浜町高齢者クラブ連合会	
山本 武久	湯梨浜町高齢者クラブ連合会	
山根ミヨ子	湯梨浜町高齢者クラブ連合会	
元町クラブ	境港市	

平成29年度

西尾 常雄	鳥取市老人クラブ連合会	副会長
三好 眞之	倉吉市老人クラブ連合会	常任理事
西山 義治	倉吉市老人クラブ連合会	常任理事
長谷川 稔	倉吉市老人クラブ連合会	理事
穴戸 明男	倉吉市老人クラブ連合会	副会長
竹安 徹	境港市ことぶきクラブ連合会	理事

岡野 吉勝	智頭町老人クラブ連合会	理事
山下みや子	湯梨浜町高齢者クラブ連合会	理事
谷岡 一男	湯梨浜町高齢者クラブ連合会	理事
藤井 昭弘	北栄町老人クラブ連合会	理事
田中 陽子	北栄町老人クラブ連合会	理事
下垣 恭子	江府町老人クラブ連合会	理事

平成30年度

古川 拓郎	米子市老人クラブ連合会	副会長
海地 清	倉吉市老人クラブ連合会	常任理事
北村 隆雄	倉吉市老人クラブ連合会	理事
沼澤 義信	境港市ことぶきクラブ連合会	理事
牧島 健一	境港市ことぶきクラブ連合会	監査
渋谷 博子	境港市ことぶきクラブ連合会	副会長
古井 喜紀	八頭町老人クラブ連合会	前会長
田中 憲治	智頭町老人クラブ連合会	理事

藤木 光治	智頭町老人クラブ連合会	理事
矢部 政信	智頭町老人クラブ連合会	前理事
會見 祐子	湯梨浜町高齢者クラブ連合会	理事
中川はるこ	湯梨浜町高齢者クラブ連合会	副会長
竹中 幸子	南部町老人クラブ連合会	理事
黒田 隆弘	大山町老人クラブ連合会	会長
川上 公行	江府町老人クラブ連合会	理事

令和元年度

矢島 俊郎	米子市老人クラブ連合会 理事
里見 信夫	境港市ことぶきクラブ連合会 理事
足立 勝也	境港市ことぶきクラブ連合会 理事
庄司 正子	境港市ことぶきクラブ連合会 理事

西村 英昌	北栄町老人クラブ連合会 前会長
稲本 恒博	北栄町老人クラブ連合会 前理事
安達 幸男	南部町老人クラブ連合会 会長
加藤 富郎	江府町老人クラブ連合会 前理事

令和2年度

小谷 昭	倉吉市老人クラブ連合会 理事
谷田 和久	倉吉市老人クラブ連合会 副会長
中林 正樹	倉吉市老人クラブ連合会 会長
中村登美子	境港市ことぶきクラブ連合会 理事
湯越 敬	境港市ことぶきクラブ連合会 理事
岸田 哲夫	八頭町老人クラブ連合会 理事
田中 忠義	八頭町老人クラブ連合会 理事

春菜 正崇	八頭町老人クラブ連合会 支部監事
國政 隆昭	智頭町老人クラブ連合会 理事
西尾 庄司	智頭町老人クラブ連合会 副会長
池三津 孝	北栄町老人クラブ連合会 理事
矢部 敏勝	八頭町老人クラブ連合会 前副会長
手嶋 幸子	逢束長生会 役員
吉岡 正	琴浦町高齢者クラブ連合会 理事

感謝
感謝
感謝

令和3年度

矢部 二喜	鳥取市老人クラブ連合会 理事
田中平志郎	鳥取市老人クラブ連合会 理事
草瀬 宜輝	鳥取市老人クラブ連合会 理事
福田 進	鳥取市老人クラブ連合会 理事
磯見 義隆	鳥取市老人クラブ連合会 理事
高垣 昇	鳥取市老人クラブ連合会 理事
井口 博一	鳥取市老人クラブ連合会 理事
高木 武	境港市ことぶきクラブ連合会 理事
尾崎 満	境港市ことぶきクラブ連合会 理事
植田 建造	境港市ことぶきクラブ連合会 理事

浜田征次郎	湯梨浜町高齢者クラブ連合会 会長
信原 一郎	湯梨浜町高齢者クラブ連合会 理事
洞ヶ瀬二一	湯梨浜町高齢者クラブ連合会 理事
野口 薫	湯梨浜町高齢者クラブ連合会 理事
宮城 明	湯梨浜町高齢者クラブ連合会 理事
山口 正明	三朝町老人クラブ連合会 前会長
長尾 誉富	南部町老人クラブ連合会 副会長
松友会	湯梨浜町
駅前老人クラブ	伯耆町
宮原老人クラブ	伯耆町

令和4年度

松島 孝志	倉吉市老人クラブ連合会 理事
上灘 二郎	境港市ことぶきクラブ連合会 理事
屋敷 善博	境港市ことぶきクラブ連合会 理事
岡森 裕	八頭町老人クラブ連合会 会長
田井 博美	八頭町老人クラブ連合会 職員
加川 重之	ふれあいクラブ伯耆（伯耆町老連） 理事
仲村 玲子	ふれあいクラブ伯耆（伯耆町老連） 職員

一二三八郎	江府町老人クラブ連合会 会長
佐々木玉枝	江府町老人クラブ連合会 理事
石原 一男	江府町老人クラブ連合会 前会長
竹内ことぶきクラブ	境港市
坂長友の会	伯耆町
荘あすなろ会	伯耆町

令和5年度

本池 重信	米子市老人クラブ連合会 副会長
牧野 三男	米子市老人クラブ連合会 副会長
村尾 泰功	米子市老人クラブ連合会 副会長
山口 博敬	倉吉市老人クラブ連合会 会長
川口 昭一	鳥取県老人クラブ連合会 理事
山本 英輔	境港市ことぶきクラブ連合会 理事
渡部 靖郎	境港市ことぶきクラブ連合会 理事
岩垣 毅	北栄町老人クラブ連合会 前会長
山田 通	伯耆町老人クラブ連合会 理事
光木 勝利	伯耆町老人クラブ連合会 理事
米田 遼史	伯耆町老人クラブ連合会 会長

田中 徳恵	伯耆町老人クラブ連合会 副会長
松原 茂春	伯耆町老人クラブ連合会 副会長
有田 博美	伯耆町老人クラブ連合会 理事
椎木喜久男	大山町老人クラブ連合会 監事
杉原 俊雄	大山町老人クラブ連合会 副会長
誠道老壮クラブ	境港市
吉定老人クラブ	伯耆町
吉長老人クラブ	伯耆町
三部友の会	伯耆町
笹菰クラブ	伯耆町

■ 全国老人クラブ連合会会長表彰

(所属役職名は、各年度の全国老人クラブ大会開催日時点のもの)

【育成功労表彰】

平成 26 年度

門脇 陽子	境港市、鳥取県老人クラブ連合会 前理事
-------	---------------------

平成 27 年度

碓井 悟	境港市ことぶきクラブ連合会 前副会長
小原 大忍	岩美町老人クラブ連合会 前副会長

平成 28 年度

日下部武志	岩美町老人クラブ連合会 会長
数内 清志	境港市ことぶきクラブ連合会 前理事

平成 29 年度

沖田 博敬	鳥取県老人クラブ連合会 会長
松永 林造	境港市ことぶきクラブ連合会 前理事

平成 30 年度

竹内準太郎	鳥取県老人クラブ連合会 前理事
青山 宏	智頭町老人クラブ連合会 前理事

【優良老人クラブ表彰】

平成 26 年度

上道ことぶきクラブ連合会	境港市
--------------	-----

令和 3 年度

池の内常盤会	江府町
--------	-----

【永年勤続表彰】

令和 5 年度

仲村 玲子	伯耆町老人クラブ連合会 事務局
-------	-----------------

【活動賞】

平成 27 年度

境港市ことぶきクラブ連合会	境港市
---------------	-----

平成 28 年度

日吉津村老人クラブ連合会	日吉津村
竹内ことぶきクラブ	境港市

平成 29 年度

みどり 2 区コスモス会	北栄町
--------------	-----

令和 2 年度

松友会	湯梨浜町
湯梨浜町門田寿会	湯梨浜町
境港市ことぶきクラブ連合会	境港市

令和元年度

知久馬二三子	鳥取県老人クラブ連合会 理事
古井 喜紀	八頭町老人クラブ連合会 前会長

令和 2 年度

打越 松次	境港市ことぶきクラブ連合会 理事
松本 功	境港市ことぶきクラブ連合会 理事

令和 3 年度

中林 正樹	鳥取県老人クラブ連合会 前会長
遠藤 量	境港市ことぶきクラブ連合会 理事

令和 4 年度

木村 定雄	鳥取県老人クラブ連合会 副会長
庄司 正子	境港市ことぶきクラブ連合会 副会長

令和 5 年度

岡森 裕	鳥取県老人クラブ連合会 会長
足立 勝也	境港市ことぶきクラブ連合会 副会長

令和 4 年度

駅前老人クラブ	伯耆町
---------	-----

令和 5 年度

宮原老人クラブ	伯耆町
---------	-----

令和 3 年度

小鴨シニアクラブ協議会	倉吉市
岩美駅前長寿会老人クラブ	岩美町
荘あすなろ会	伯耆町
北栄町北条島さわやかクラブ	北栄町

令和 4 年度

宮原老人クラブ	伯耆町
---------	-----

令和 5 年度

美萩野三丁目シニアクラブ	鳥取市
友の会坂長	伯耆町
大山町老人クラブ名和支部第五明生会	大山町

■ その他の表彰

【知事表彰】

令和3年度

沖田 博敬	鳥取市老人クラブ連合会 顧問
-------	----------------

【厚生労働大臣表彰】

令和4年度

沖田 博敬	鳥取市老人クラブ連合会 顧問
-------	----------------



役員一覧 (H26 ~ H30)

上段：氏名 下段：選出区分
各年度定時総会時点の就任者について記載

	H26	H27	H28	H29	H30
会 長	沖田 博敬 (鳥取市)	沖田 博敬 (鳥取市)	沖田 博敬 (鳥取市)	沖田 博敬 (鳥取市)	中林 正樹 (倉吉市)
副 会 長	門脇 眞澄 (境港市)	門脇 眞澄 (境港市)	中林 正樹 (倉吉市)	中林 正樹 (倉吉市)	森田 秀雄 (鳥取市)
副 会 長	山下 宜昭 (湯梨浜町)	山下 宜昭 (湯梨浜町)	門脇 眞澄 (境港市)	古井 喜紀 (八頭町)	木村 定雄 (米子市)
副 会 長	知久馬二三子 (三朝町)	知久馬二三子 (三朝町)	古井 喜紀 (八頭町)	木村 定雄 (米子市)	岡森 裕 (八頭町)
理 事	中林 正樹 (倉吉市)	中林 正樹 (倉吉市)	竹内準太郎 (鳥取市)	竹内準太郎 (鳥取市)	西尾 常雄 (鳥取市)
理 事	今岡 祐一 (米子市)	木村 定雄 (米子市)	森田 秀雄 (鳥取市)	森田 秀雄 (鳥取市)	竹本 英行 (鳥取市)
理 事	青山 宏 (智頭町)	田中 潔 (智頭町)	木村 定雄 (米子市)	川口 昭一 (境港市)	川口 昭一 (境港市)
理 事	高塚 勇 (日吉津村)	高橋 健治 (日吉津村)	山口 正明 (三朝町)	山口 正明 (三朝町)	田中 明 (琴浦町)
理 事	相見 寿子 (女性委員会)	相見 寿子 (女性委員会)	黒田 隆弘 (大山町)	黒田 隆弘 (大山町)	米田 遼史 (伯耆町)
理 事	佐々木千代子 (鹿野まちづくり協議会)	山本 充延 (若手委員会)	知久馬二三子 (女性委員会)	知久馬二三子 (女性委員会)	知久馬二三子 (女性委員会)
理 事	小林 裕幸 (県社協)	佐々木千代子 (鹿野まちづくり協議会)	加持谷典範 (若手委員会)	加持谷典範 (若手委員会)	平尾 昭一 (若手委員会)
理 事		竹内準太郎 (鳥取市)	岸本 国代 (鳥取市)	岸本 国代 (鳥取市)	米山美津子 (鳥取市)
理 事		前田 恵 (県社協)	前田 恵 (県社協)	前田 恵 (県社協)	前田 恵 (県社協)

監 事	藤原 源市 (若桜町)	藤原 源市 (若桜町)	田中 潔 (智頭町)	田中 潔 (智頭町)	坂本 等 (若桜町)
監 事	浜崎 幸子 (合銀)	浜崎 幸子 (合銀)	池原 昌司 (合銀)	池原 昌司 (合銀)	池原 昌司 (合銀)

役員一覧 (R1 ~ R5)

上段：氏名 下段：選出区分
各年度定時総会時点の就任者について記載

	R1	R2	R3	R4	R5
会 長	中林 正樹 (倉吉市)	岡森 裕 (八頭町)	岡森 裕 (八頭町)	岡森 裕 (八頭町)	岡森 裕 (八頭町)
副 会 長	森田 秀雄 (鳥取市)	木村 定雄 (米子市)	木村 定雄 (米子市)	木村 定雄 (米子市)	木村 定雄 (米子市)
副 会 長	木村 定雄 (米子市)	竹本 英行 (鳥取市)	岩垣 毅 (北栄町)	岡 享弘 (鳥取市)	岡 享弘 (鳥取市)
副 会 長	岡森 裕 (八頭町)	岩垣 毅 (北栄町)	山本 章 (鳥取市)	水野 彰 (湯梨浜町)	水野 彰 (湯梨浜町)
理 事	西尾 常雄 (鳥取市)	山本 章 (鳥取市)	岡 享弘 (鳥取市)	平井 堅志 (鳥取市)	平井 堅志 (鳥取市)
理 事	竹本 英行 (鳥取市)	岡 享弘 (鳥取市)	能見 恵子 (鳥取市)	山口 博敬 (倉吉市)	山口 博敬 (倉吉市)
理 事	川口 昭一 (境港市)	安田 秀昭 (倉吉市)	安田 秀昭 (倉吉市)	川口 昭一 (境港市)	川口 昭一 (境港市)
理 事	田中 明 (琴浦町)	川口 昭一 (境港市)	川口 昭一 (境港市)	米田 遼史 (伯耆町)	米田 遼史 (伯耆町)
理 事	米田 遼史 (伯耆町)	米田 遼史 (伯耆町)	米田 遼史 (伯耆町)	佐竹ふみ代 (女性委員会)	佐竹ふみ代 (女性委員会)
理 事	知久馬二三子 (女性委員会)	佐竹ふみ代 (女性委員会)	佐竹ふみ代 (女性委員会)	本池 重信 (若手委員会)	本池 重信 (若手委員会)
理 事	平尾 昭一 (若手委員会)	平尾 昭一 (若手委員会)	平尾 昭一 (若手委員会)	河原 紀子 (鳥取市)	河原 紀子 (鳥取市)
理 事	米山美津子 (鳥取市)	中村登美子 (境港市)	中村登美子 (境港市)	野間田憲昭 (県社協)	松田 繁 (県社協)
理 事	前田 恵 (県社協)	野間田憲昭 (県社協)	野間田憲昭 (県社協)		

監 事	坂本 等 (若桜町)	坂本 等 (若桜町)	坂本 等 (若桜町)	山本 賢二 (若桜町)	山本 賢二 (若桜町)
監 事	池原 昌司 (合銀)	竹内 寛 (合銀)	竹内 寛 (合銀)	矢野 哲也 (合銀)	息 あゆみ (合銀)

老人クラブ関連年表

県老連関係		国・全国・都道府県・鳥取県における関連事項	
平成 26 年	<ul style="list-style-type: none"> ・創立 50 周年記念大会を開催し、記念誌を発行 ・「女性委員会設立 20 周年記念誌」の発行 ・「8,000 人会員増強運動」展開 	平成 26 年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国運動「老人クラブ『100 万人会員増強運動』」展開 ・全国運動「老人クラブ『高齢者消費者被害防止キャンペーン』」開始
		平成 27 年	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度改正
		平成 29 年	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム強化法成立
平成 30 年	<ul style="list-style-type: none"> ・中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会開催（鳥取県） 		
令和元年	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング事業開始 		
		令和 2 年	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が拡大 ・「コロナ禍における『新しい生活様式』に基づく老人クラブ活動」提唱
令和 3 年	<ul style="list-style-type: none"> ・県委託事業受託（ICT 活用支援事業、とっとり方式認知症予防プログラム普及促進事業） 		
令和 4 年	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県老人クラブ連合会補助金補助率 3/4へ引き上げ（いきいきシニア人生充実応援事業） 	令和 4 年	<ul style="list-style-type: none"> ・全老連創設 60 周年記念全国老人クラブ大会開催（東京都）
令和 5 年	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年開催第 36 回全国健康福祉祭とっとり大会 「第 33 回地域文化伝承館」実行委員会設立 	令和 5 年	<ul style="list-style-type: none"> ・「認知症を理解し、地域支える」パンフレットでわかりやすく紹介



編集後記

県老連 広報委員 川口 昭一

平成 26 年以降の 10 年間は、会員の減少と新型コロナウイルスの蔓延による活動制限がありましたが、この間にも若手会員と女性会員の研修会内容を充実させて将来の指導者育成に努めました。この成果は、「地域支え合い活動」や「健康づくり・介護予防活動（フレイル予防）」「健康ウォーキング」を活性化する原動力になったと思います。

その間、平成 30 年には中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会を皆生温泉で開催し、325 名が集まりそれぞれの課題を討論して相互の交流を図ることが出来ました。

また、鳥取県老人クラブ連合会 60 周年記念大会に併せた「創立 60 周年記念 10 年小史」の発刊に際しましては、県老連役員・理事および県内各単位クラブ会長並びに会員の皆様のご協力を賜り発刊できたことを広報委員一同厚く御礼を申し上げます。



編集メンバー

・鳥取県老人クラブ連合会長 岡森 裕

・広報委員会 委員長 川口 昭一

副委員長 庄倉三保子

委員 山本 章 田栗 幸人 池澤 数昭

吉田 康博 前田八洲子 伊藤 睦子

・事務局 事務局長 朝倉 香織

活動推進員 柳谷 洋子 金岡 正恵 柳川 真紀

鳥取県老人クラブ連合会
創立 60 周年記念 10 年小史

編集・発行 公益社団法人鳥取県老人クラブ連合会
鳥取県鳥取市伏野 1729 - 5
県立福祉人材研修センター内
TEL : 0857-59-6351

発行日 令和 7 年 3 月
印刷 中央印刷株式会社

公益社団法人 鳥取県老人クラブ連合会

創立 60 周年 10 年小史

